

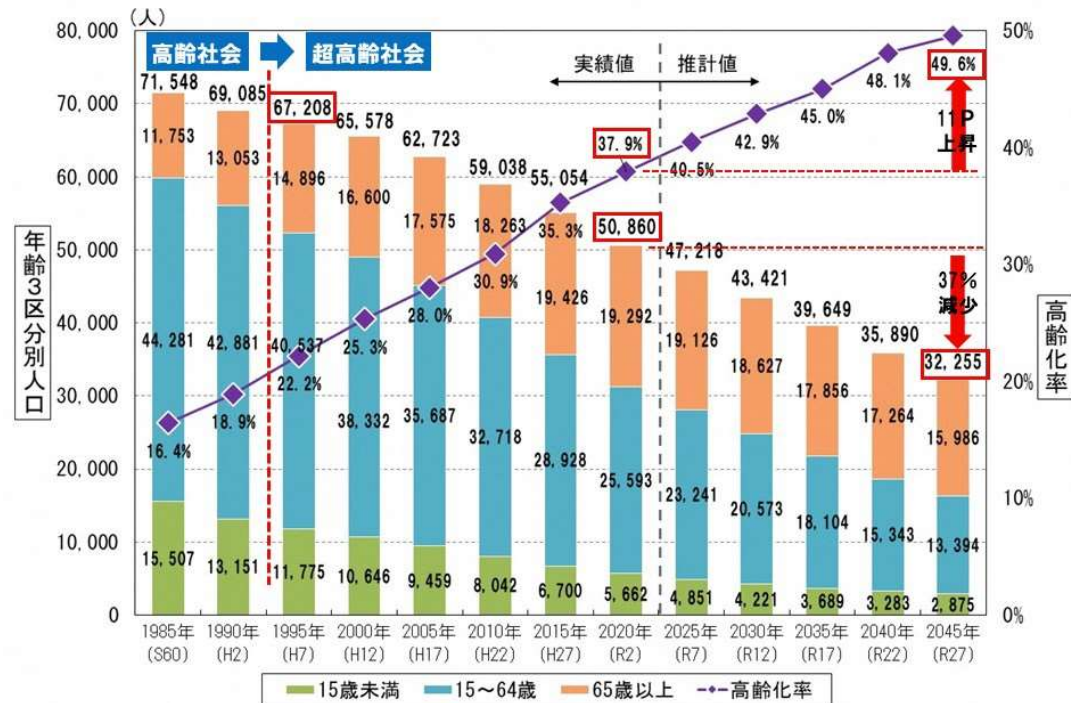
資 2 基礎データ

2-1 人口の動向

(1) 人口の推移と高齢化の見通し

ア 人口の推移と将来見通し

- ・総人口は2020(R2)年に5.1万人と1995(H7)年から25年間で24%減少しています。
- ・国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2045(R27)年には3.2万人と2020(R2)年と比べて総人口が37%減少し、高齢化率が50%に上昇することが予想されています。

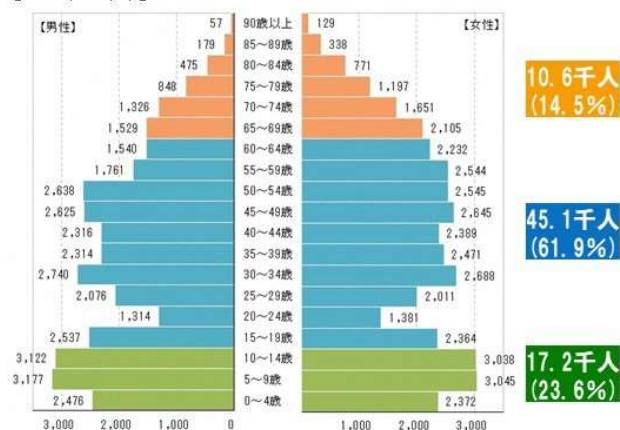


出典：1985(S60)年～2020(R2)は国勢調査実績値、
2025(R7)年以降は国立社会保障・人口問題研究所による推計値

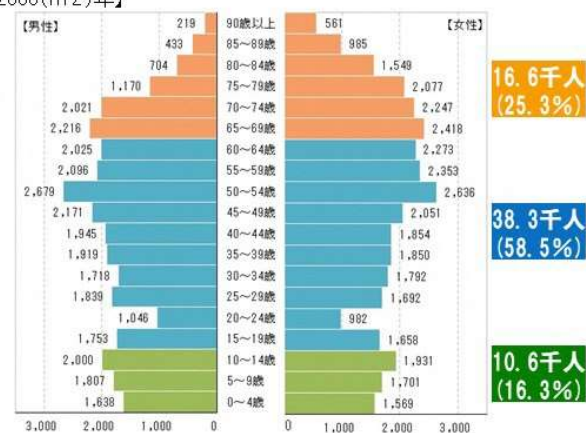
イ 年齢構成の人口ピラミッドの変化

- 人口ピラミッドを2020(R2)年と1980(S55)年を比較すると、2020(R2)年は15歳未満の人口が減少している一方で、65歳以上の人口が増加しています。

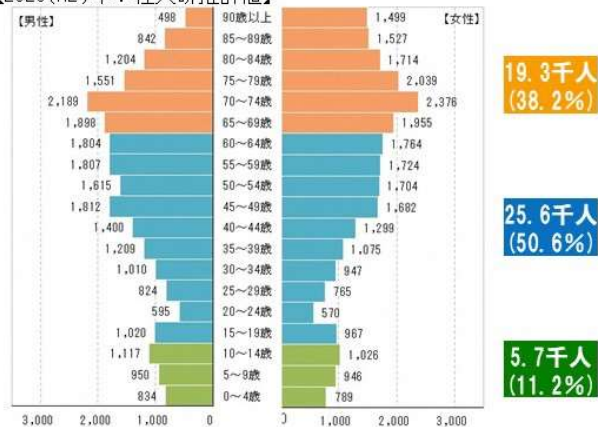
【1980(S55)年】



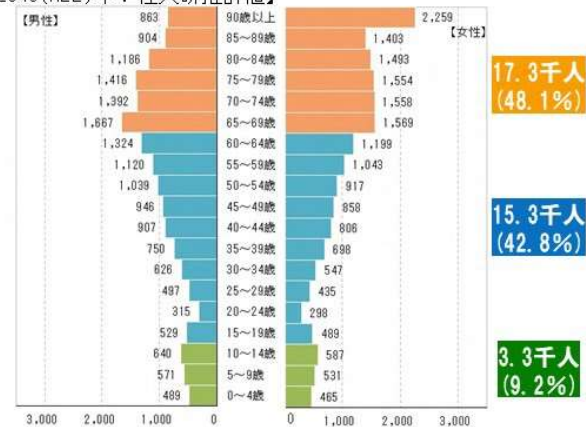
【2000(H12)年】



【2020(R2)年：社人研推計値】



【2040(R22)年：社人研推計値】

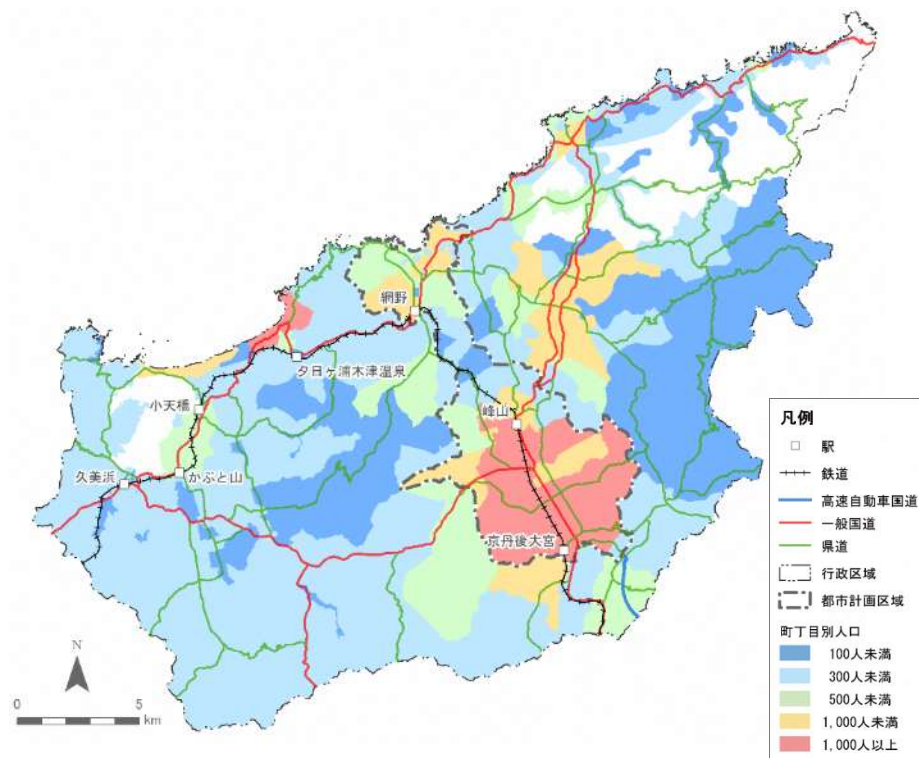


(2) 人口の分布状況

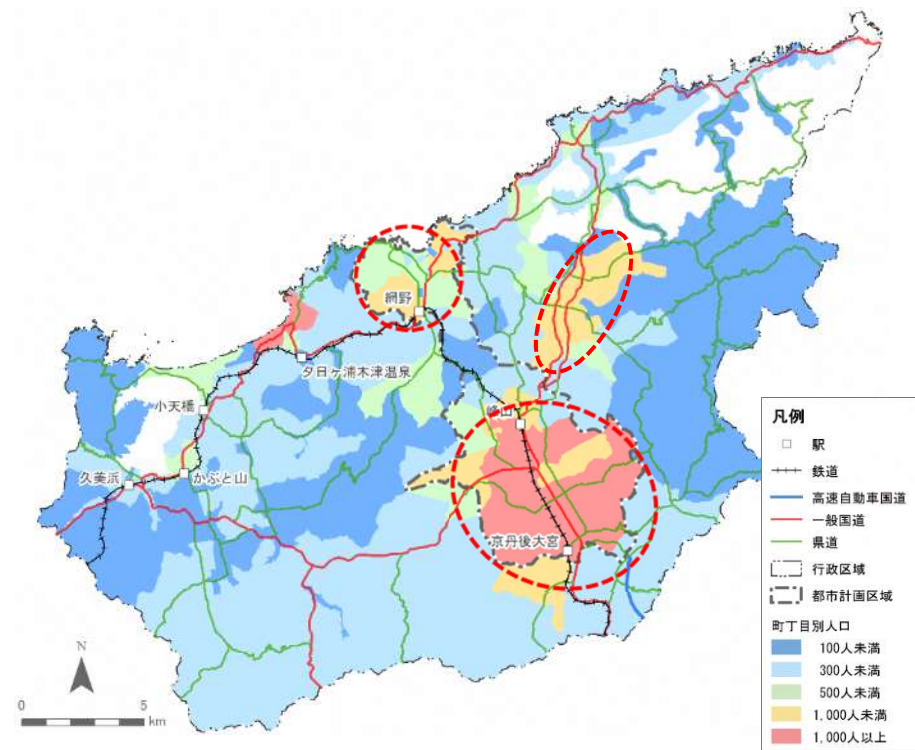
ア 人口の分布状況

- ・市域全体の人口分布では、主に京丹後大宮駅から峰山駅間の市街地や網野駅周辺、国道 482 号沿いなどに一定の人口集積がみられます。

【町丁目別の人口分布(2010(H22)年)】

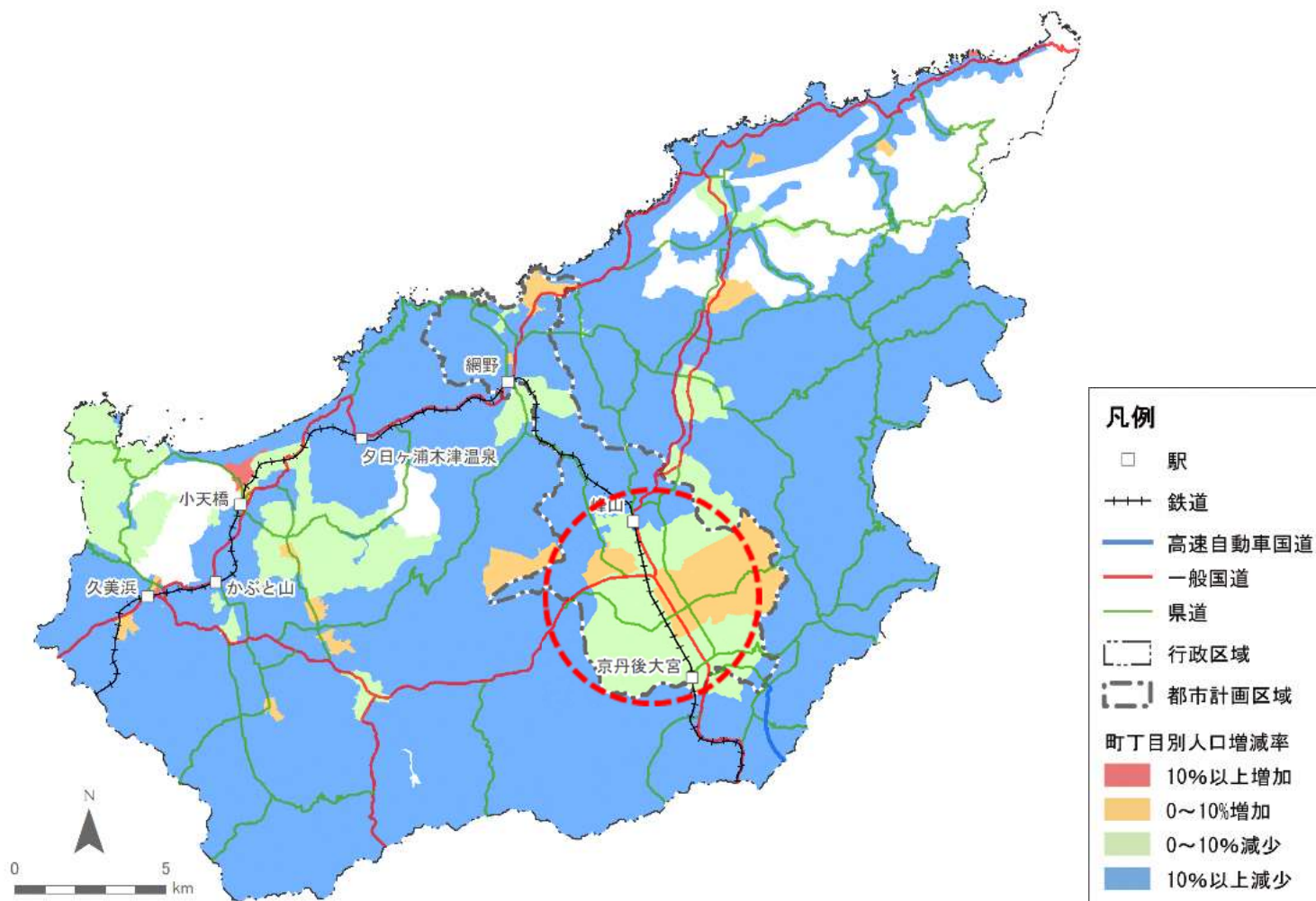


【町丁目別の人口分布(2020(R2)年)】



- 10年間の人口増減状況では、市域全体で人口が減少するなか、京丹後大宮駅から峰山駅までの間では緩やかな減少から増加がみられます。

【町丁目別の人口増減(2010(H22)年→2020(R2)年)】

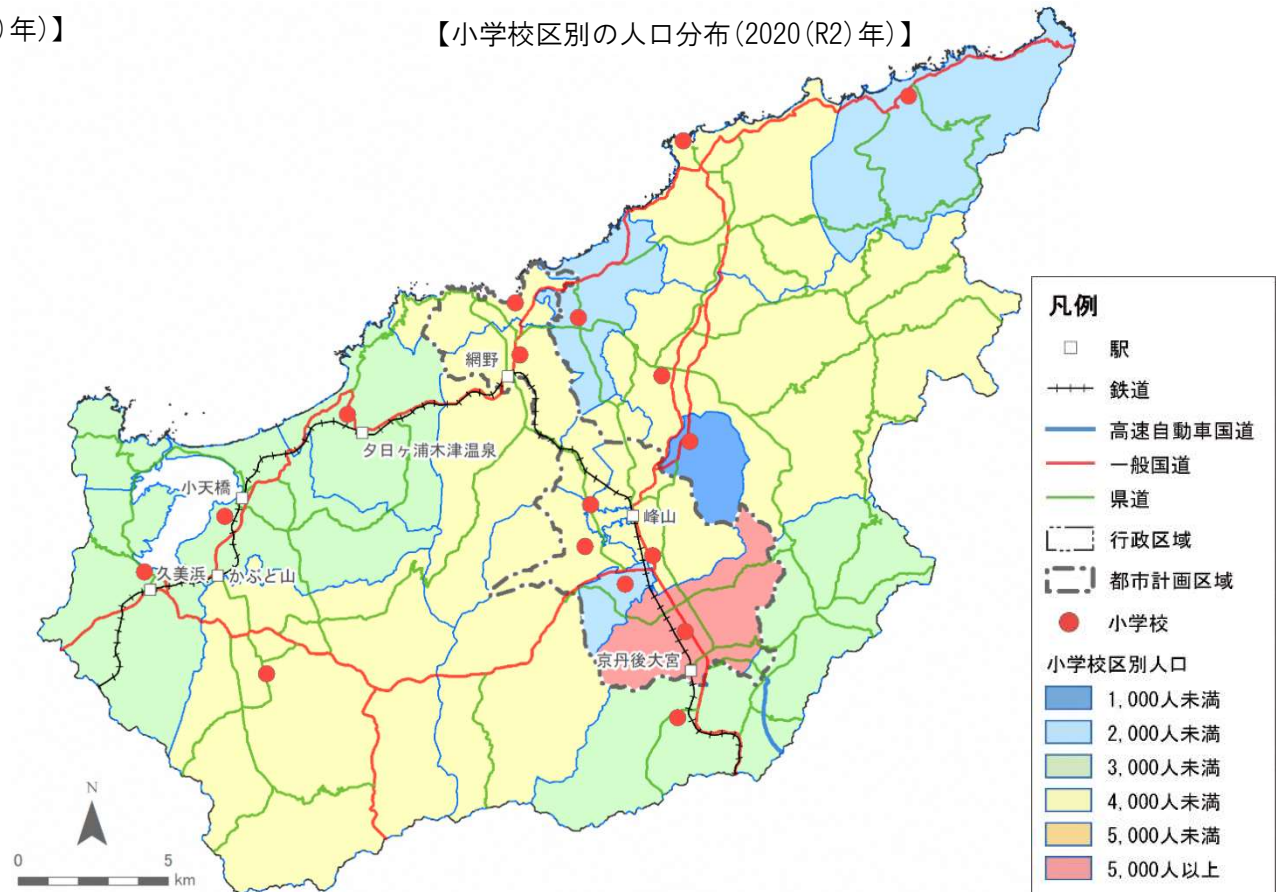


- ・小学校区別の人口分布では、大宮第一小学校区が最も人口が多く、7,140 人となっています。
- ・全ての小学校区で人口が減少しています。
- ・長岡小学校区や大宮第一小学校区では減少率が小さい状況にあります。
- ・宇川小学校区・丹後小学校区・島津小学校区など 11 の小学校区では、市全体の人口減少率を上回る減少率となっています。

【小学校区別の人口分布の推移(2010(H22)→2020(R2)年)】

小学校区	2010(H22)年	2020(R2)年	増減率
峰山小学校区	3,598	3,062	-14.9%
いさなご小学校区	3,772	3,402	-9.8%
しんざん小学校区	4,021	3,615	-10.1%
長岡小学校区	1,308	1,258	-3.8%
大宮第一小学校区	7,442	7,140	-4.1%
大宮南小学校区	2,926	2,435	-16.8%
網野北小学校区	4,518	3,872	-14.3%
網野南小学校区	4,683	3,803	-18.8%
島津小学校区	2,270	1,840	-18.9%
橘小学校区	2,788	2,285	-18.0%
丹後小学校区	4,037	3,227	-20.1%
宇川小学校区	1,573	1,173	-25.4%
吉野小学校区	1,148	979	-14.7%
弥栄小学校区	4,345	3,692	-15.0%
久美浜小学校区	2,825	2,460	-12.9%
高龍小学校区	4,116	3,398	-17.4%
かぶと山小学校区	3,364	2,962	-12.0%
京丹後市(人)	58,734	50,603	-13.8%

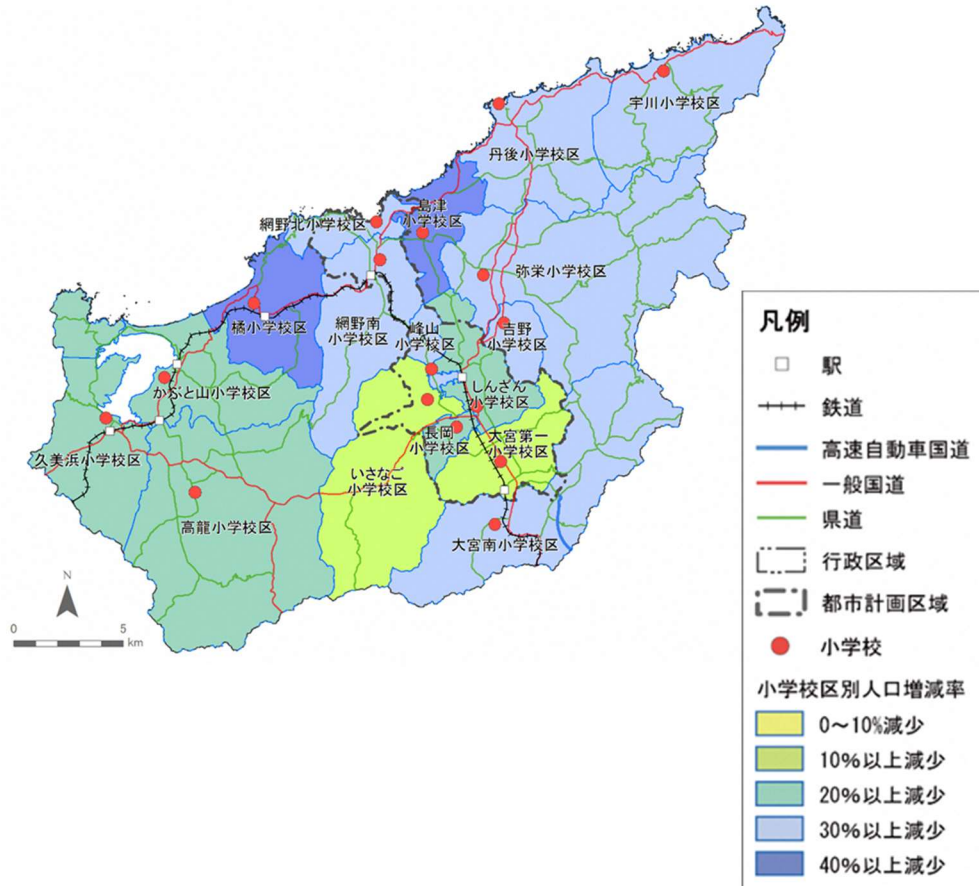
【小学校区別の人口分布(2020(R2)年)】



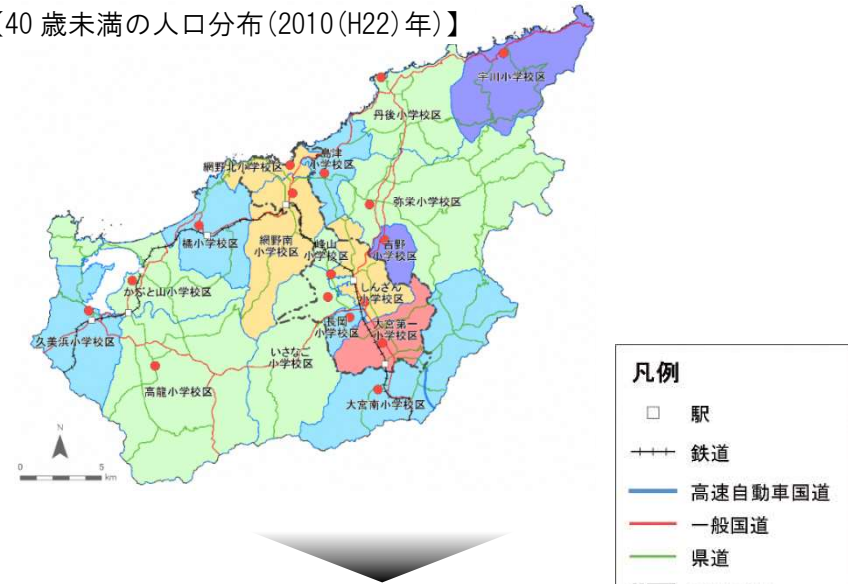
市全体を上回る減少率

- ・10年間（2010(H22)年～2020(R2)年）の40歳未満の人口の増減率は、全ての地区で減少しています。
- ・各小学校区別では、橘小学校区と島津小学校区が40%以上の減少率であり、40歳未満の人口が最も減少しています。

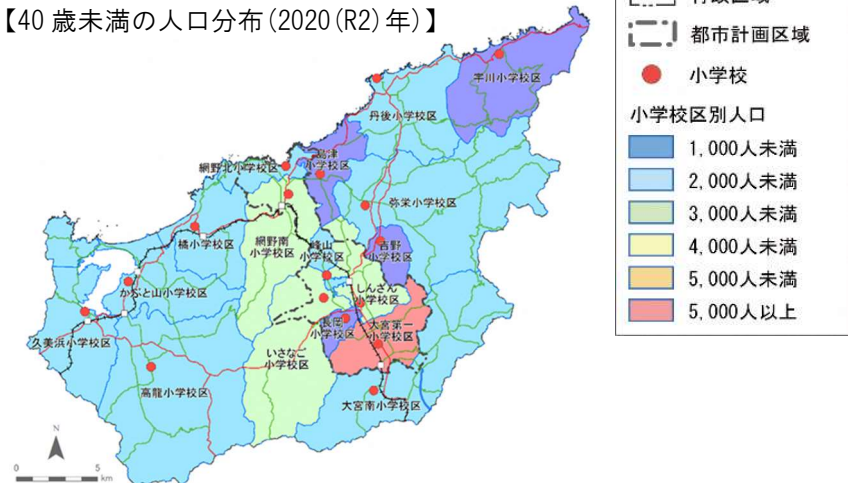
【40歳未満の人口増減(2010(H22)年→2020(R2)年)】



【40歳未満の人口分布(2010(H22)年)】



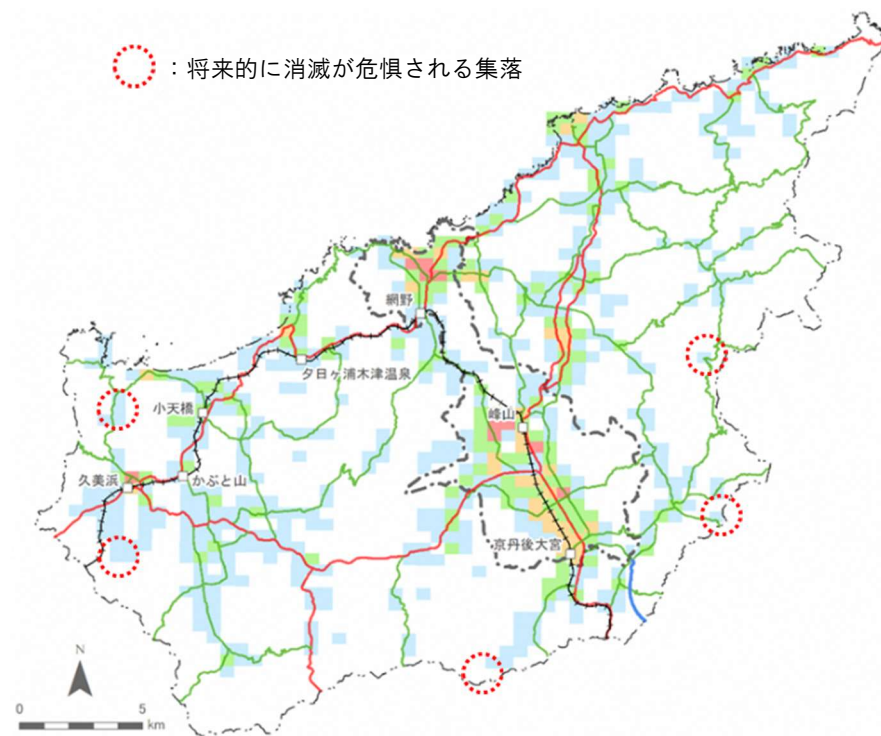
【40歳未満の人口分布(2020(R2)年)】



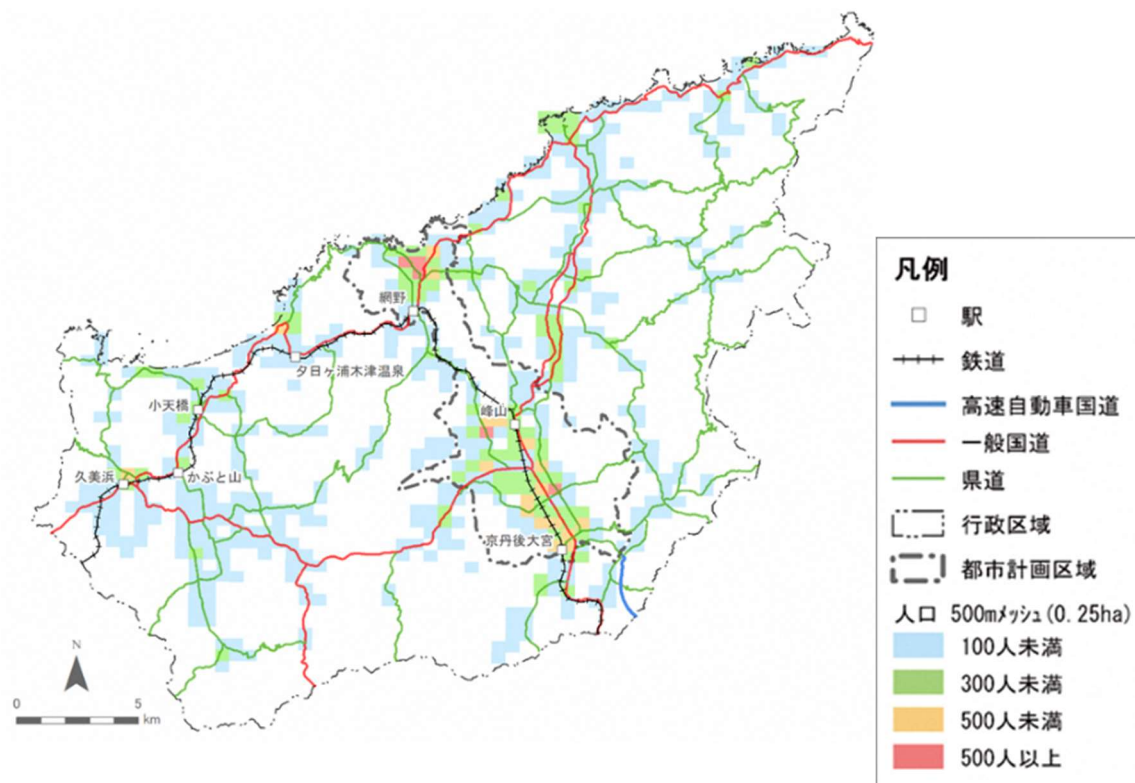
イ 将来人口及び高齢化率の状況

- ・市全体的に将来人口の分布状況に大きな変化は予想されません。
- ・2035(R17)年にはメッシュが無くなり白塗りの地域が増えるため、一部の山間地の集落では将来的な消滅が危惧されています。

【500mメッシュ別の人口分布(2015(H27)年)】

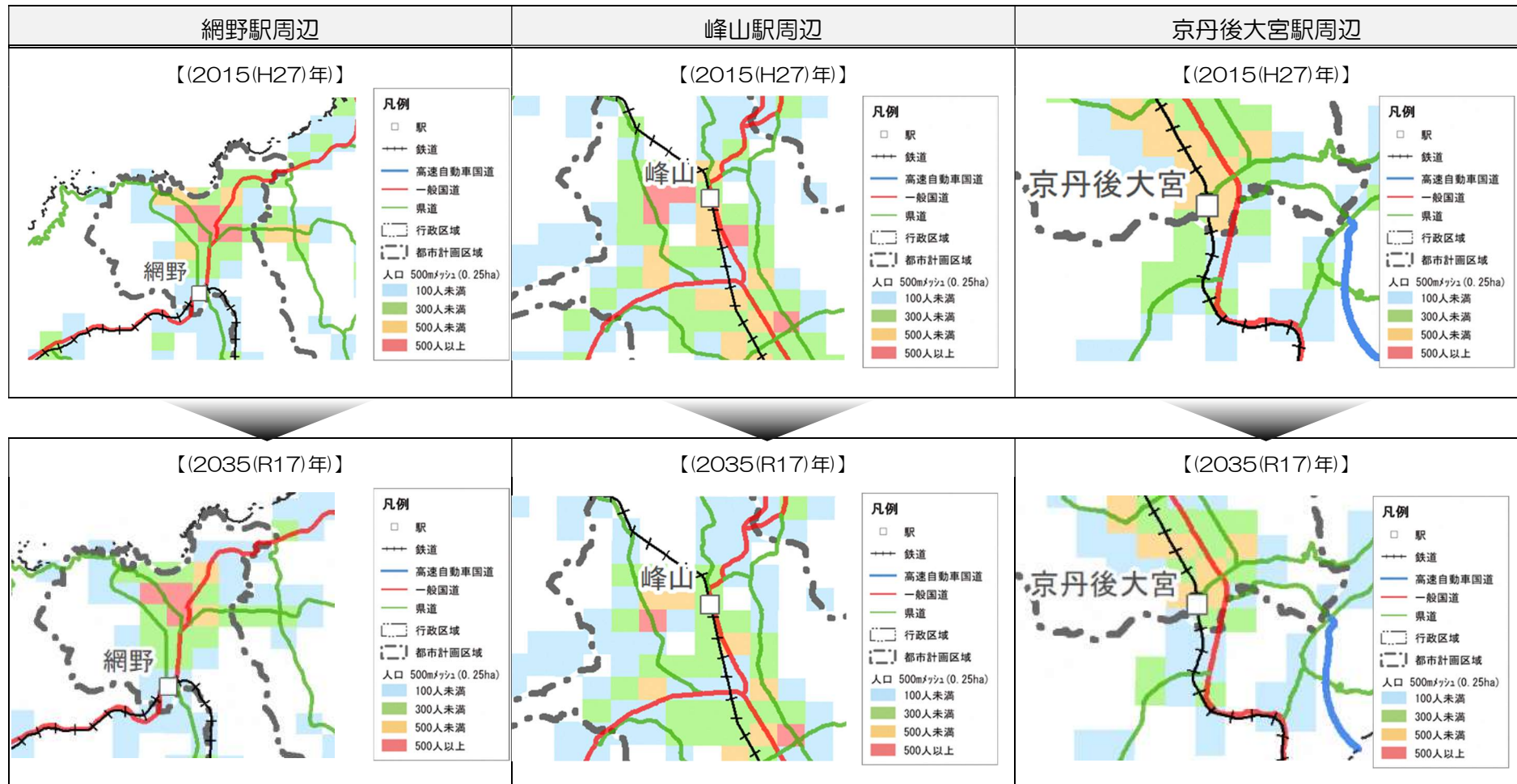


【500mメッシュ別の人口分布年(2035(R17)年)】



出典：国勢調査、国土数値情報ダウンロードサービス

- ・人口集積が見られる網野駅周辺や峰山駅から京丹後大宮駅周辺にかけての区域も、将来的に人口の減少が予想されます。



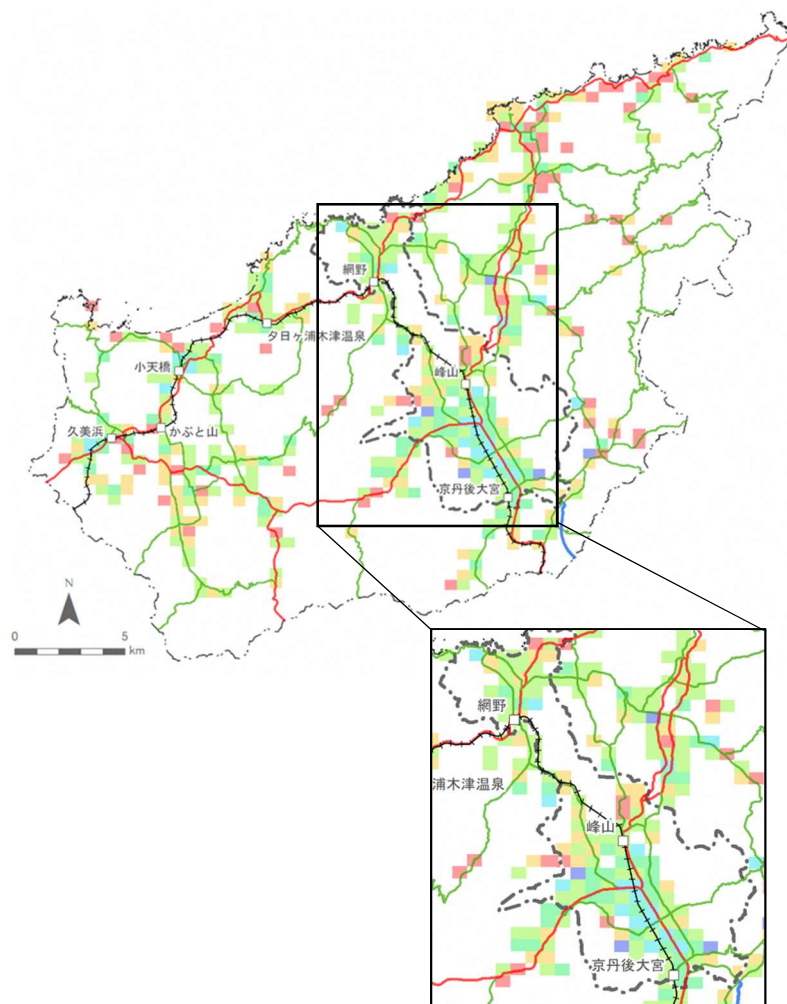
- ・市全体でみると、2015(H27)年には人が居住する全ての500mメッシュ（次頁の図のうち色付けされている箇所）のうち、高齢化率が30%を超える500mメッシュ（次頁の図の赤色の箇所）が61.1%であるのに対し、2035(R17)年には83.1%にまで上昇することが見込まれています。

【メッシュの変化(2015(H27)年→2035(R17)年)】

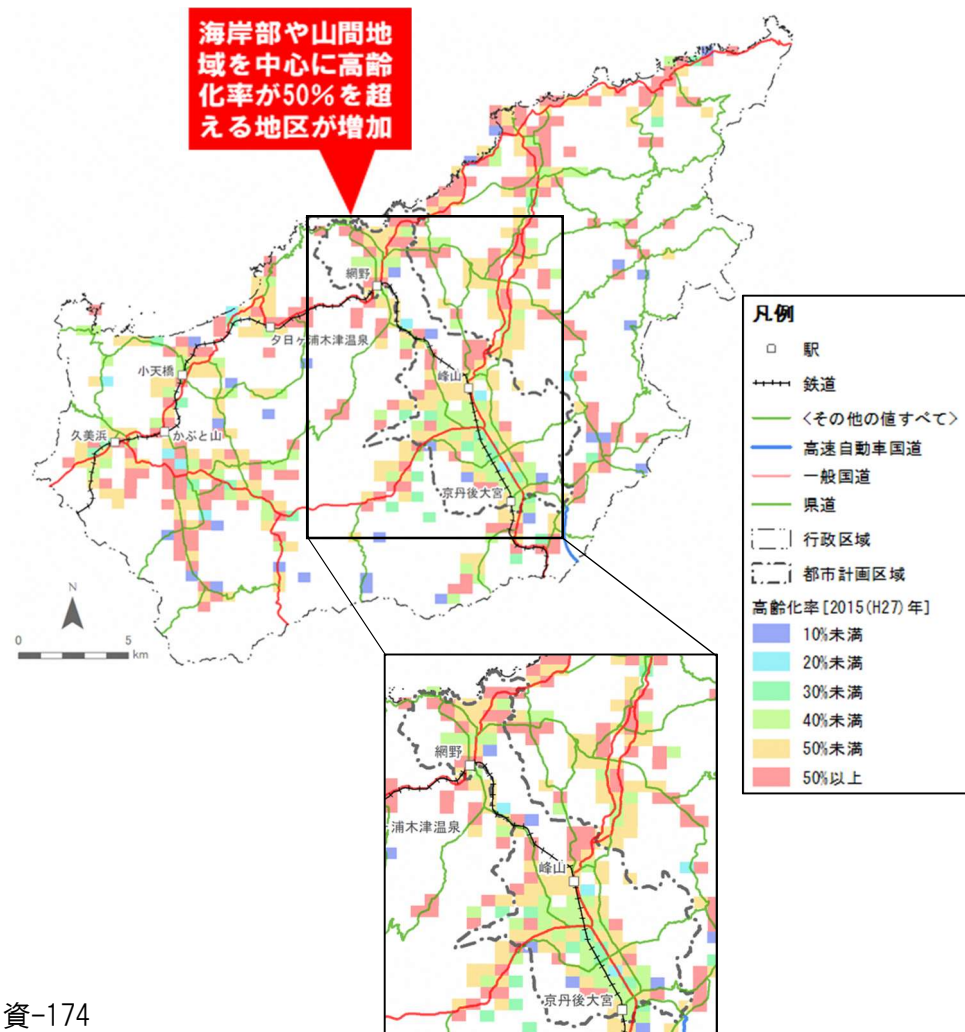
		2015 年（平成 27 年）		2035 年（令和 17 年）	
		500m メッシュの数	構成比	500m メッシュの数	構成比
高 齢 化 率	10%未満	146	23.6%	66	11.0%
	20%未満	22	3.6%	9	1.5%
	30%未満	72	11.7%	26	4.3%
	40%未満	190	30.7%	87	14.5%
	50%未満	110	17.8%	199	33.3%
	50%以上	78	12.6%	211	35.3%
計		618	100%	598	100%

- 高齢化率は、2015(H27)年から2035(R17)年にかけて市域全体で上昇することが予想されます。特に海岸部や山間地域の集落地における高齢化の進行が顕著となっています。
- 人口集積が見られる網野駅周辺や峰山駅から京丹後大宮駅周辺も、2015(H27)年から2035(R17)年にかけて高齢化率が上昇することが予想されます。

【500mメッシュ別の高齢化率の分布(2015(H27)年)】



【500mメッシュ別の高齢化率の分布(2035(R17)年)】



(3) 人口流動の状況

ア 通勤・通学流動の状況

- ・通勤通学の状況では、市内での就業就学率※は 2005(H17)年の 89.8%から 2015(H27)年には 85%と低下しています。
- ・他市町での従業就学率が増加していることから、他市町からの流入者数も増加しています。

※就業就学率：京丹後市内での就業通学者を 15 歳以上の就業通学者で除した割合

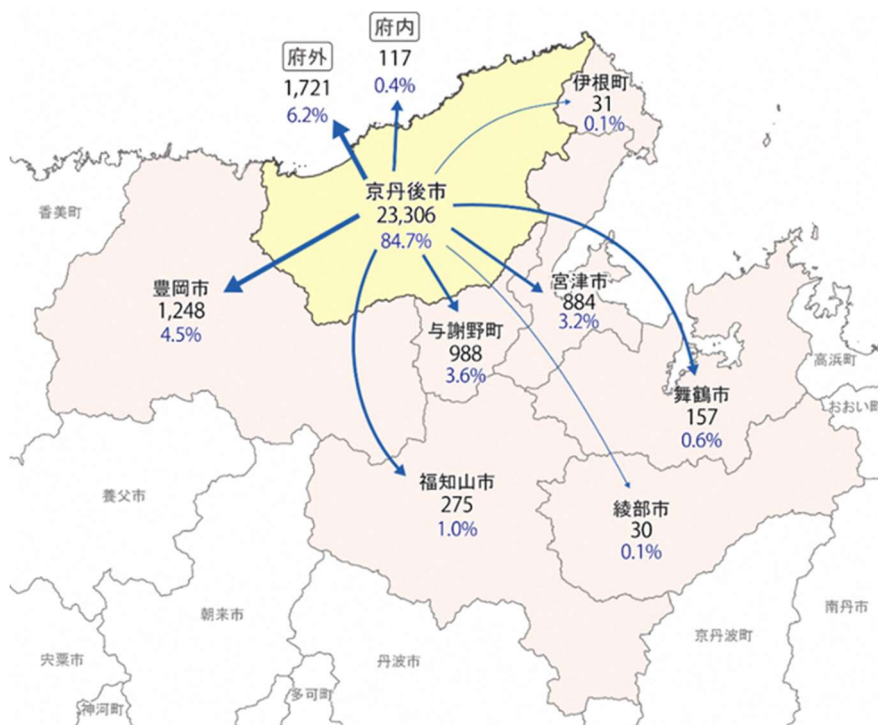
【通勤・通学流動の状況(2005(H17)年→2015(H27)年)】

	15 歳以上の の就業者	京丹後市内で の就業通学者	他市町での 従業者	他市町からの 従業通学者者	昼間人口	自市内での 就業就学率	他市での従 業就学率	他市からの 流入率
2005 年 (平成 17 年)	35,798 人	32,132 人	3,666 人	2,137 人	34,269 人	89.8%	10.2%	6.2%
2015 年 (平成 27 年)	30,662 人	26,049 人	4,613 人	2,304 人	28,353 人	85.0%	15.0%	8.1%
増減率	-14.3%	-18.9%	25.8%	7.8%	-17.3%	-4.8%	4.8%	1.9%

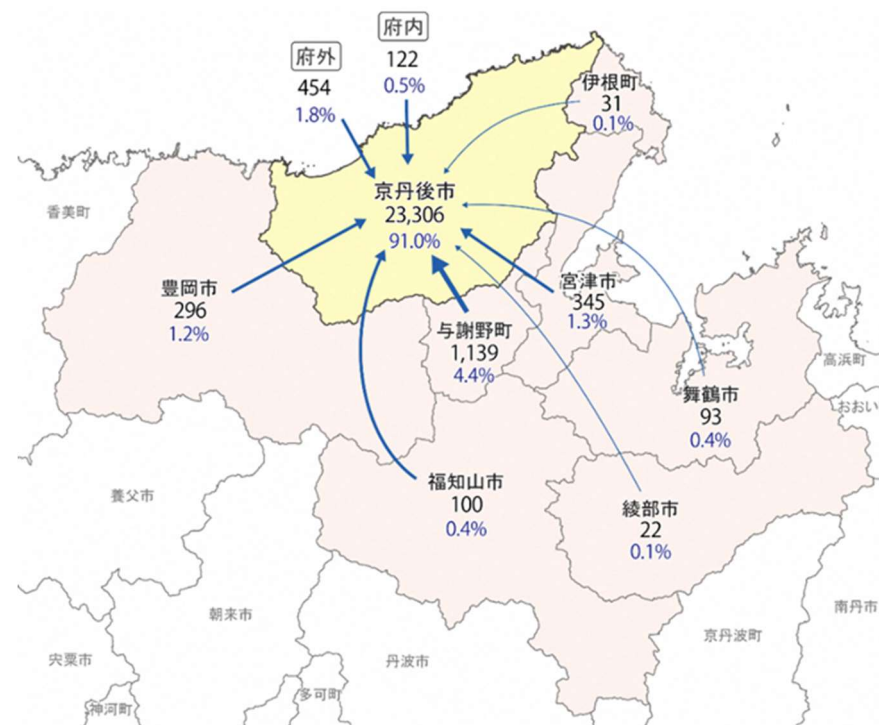
出典：国勢調査

- ・通勤通学先は、豊岡市（4.5%）、与謝野町（3.6%）、宮津市（3.2%）が上位となっています。
- ・他市町からの流入は、与謝野町（4.4%）、宮津市（1.3%）、豊岡市（1.2%）が上位となっています。
- ・周辺市町との結びつきが強いことが分かります。

【通勤・通学流動の流出状況（2005（H17）年）】



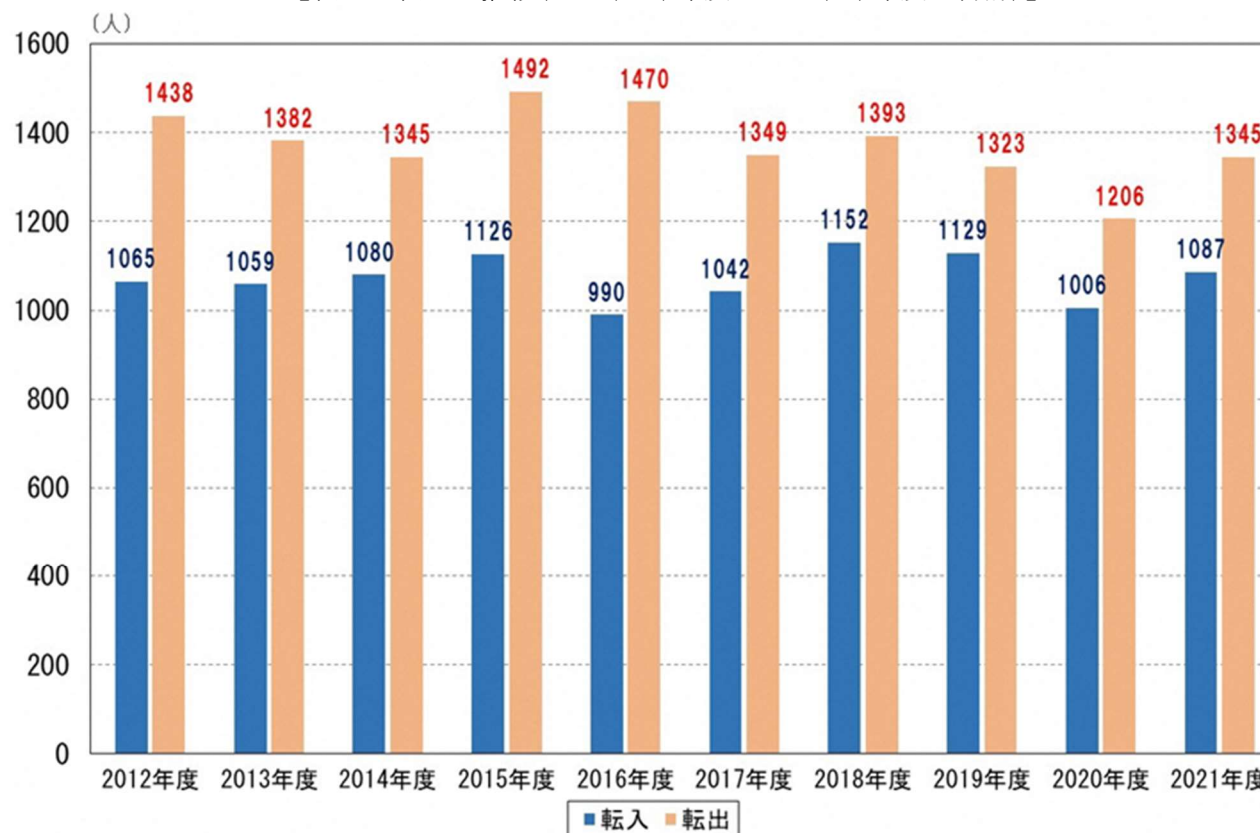
【通勤・通学流動の流入状況（2015（H27）年）】



イ 転入・転出の状況

- ・転入は 1,100 人前後で推移しています。
- ・転出は 1,300 人前後で推移しています。
- ・いずれの年も転出超過の状況が続いています。

【転出・転入の推移(2012(H24)年度～2021(R3)年度の合計)】



出典：住民基本台帳

- ・転入は京都府（40%）、大阪府（14%）、兵庫県（13%）からが全体の約7割を占めています。
京都市、豊岡市、大阪市の順に多くなっています。
- ・転出先は京都府（40%）、大阪府（17%）、兵庫県（13%）が全体の約7割を占めています。
大阪市、京都市、豊岡市の順に多くなっています。

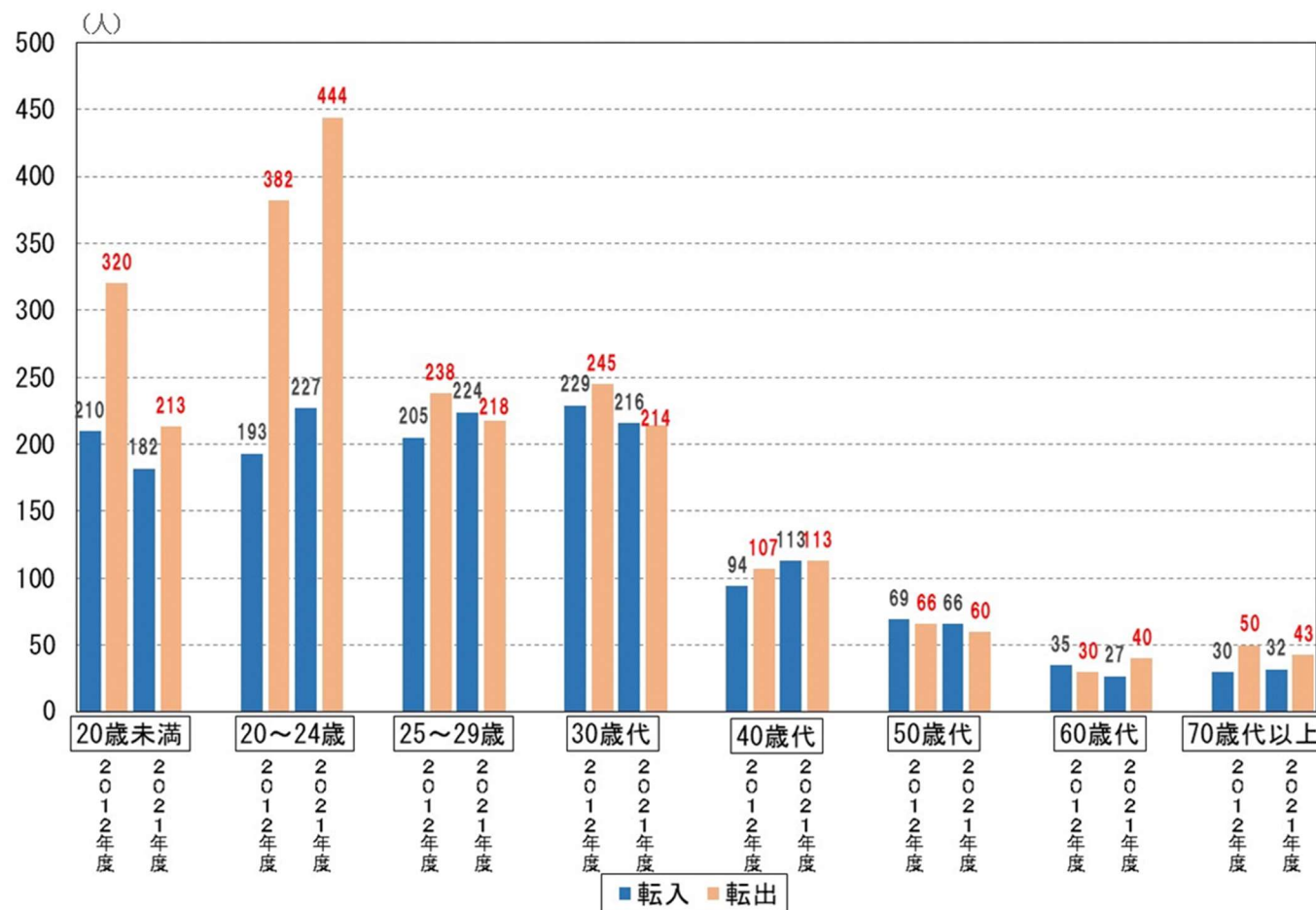
【転入元・転出先の上位市町(2012(H24)年度～2021(R3)年度の合計)】

			第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
転入元	京都府	第 1 位	京都市	与謝野町	福知山市	宮津市	舞鶴市
		4,301 40.1%	1,798 41.8%	720 16.7%	367 8.5%	356 8.3%	289 6.7%
		第 2 位	大阪市	枚方市	堺市	東大阪市	高槻市
	大阪府	1,493 13.9%	529 35.4%	106 7.1%	95 6.4%	89 6.0%	85 5.7%
		第 3 位	豊岡市	神戸市	西宮市	尼崎市	朝来市
	兵庫県	1,394 13.0%	587 42.1%	215 15.4%	70 5.0%	69 4.9%	55 3.9%
		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	
転出先	京都府	第 1 位	京都市	福知山市	与謝野町	舞鶴市	宮津市
		5,469 39.8%	2,485 45.4%	631 11.5%	604 11.0%	417 7.6%	334 6.1%
	大阪府	第 2 位	大阪市	枚方市	東大阪市	吹田市	堺市
		2,263 16.5%	1,098 48.5%	133 5.9%	121 5.3%	110 4.9%	105 4.6%
	兵庫県	第 3 位	豊岡市	神戸市	西宮市	姫路市	尼崎市
		1,742 12.7%	624 35.8%	335 19.2%	135 7.7%	89 5.1%	81 4.6%

出典：住民基本台帳

- 転入の状況を年代別にみると、20 歳代が最も多く、約 40%を占めています。
- 転出の状況を年代別にみると、20 歳代が最も多く、転出全体の約 50%を占めている。さらに、20 歳代前半の転出が多くなっており、大学進学や就職を期に転出していることが推測されます。

【年齢別の転出・転入の変化】

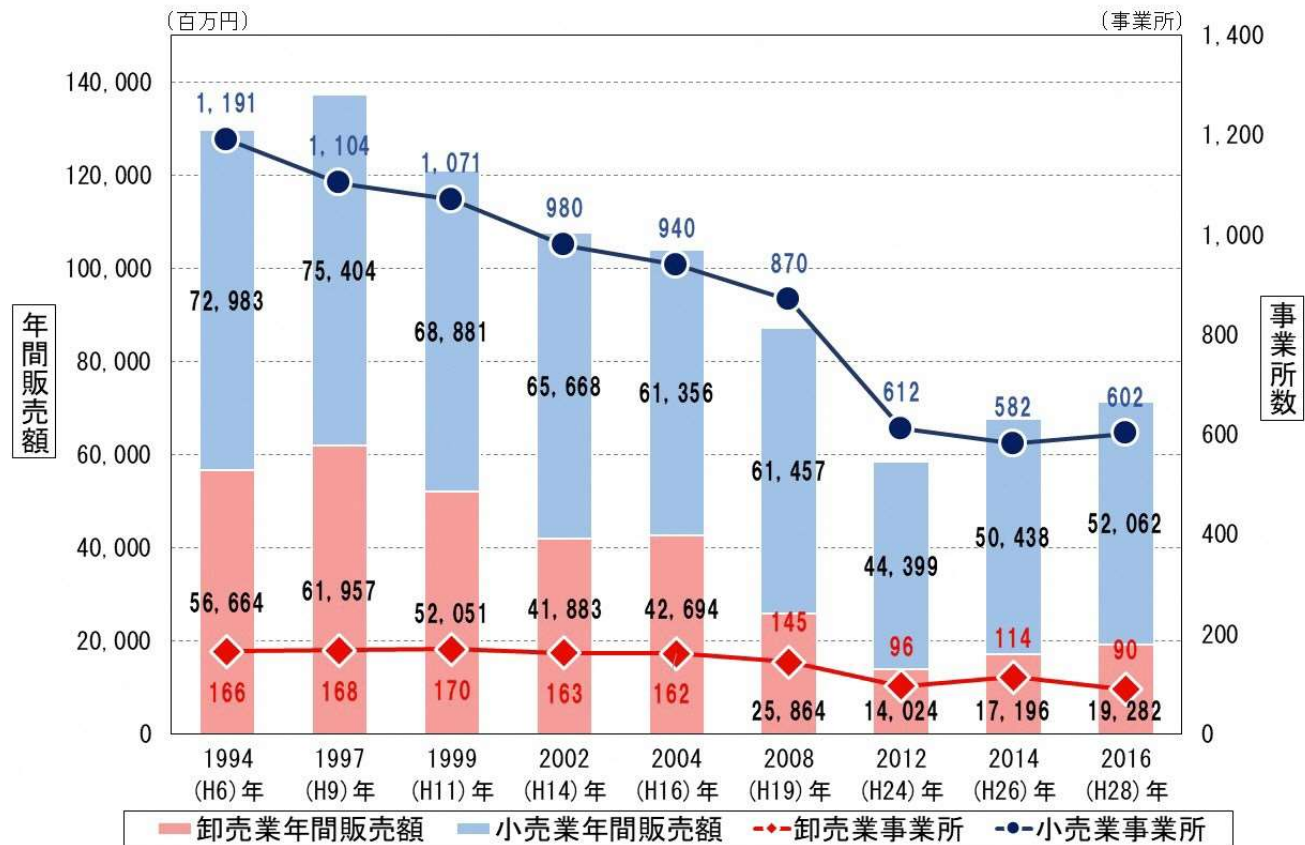


2-2 産業の動向

(1) 商業の状況

- ・卸売業や小売業の事業所数は1994(H6)年以降、減少傾向ですが、小売業では2014(H26)年以降は微増となっています。
- 商業販売額は卸売業・小売業とも2012(H24)年以降、微増となっています。

【商業販売額および事業所数の推移】



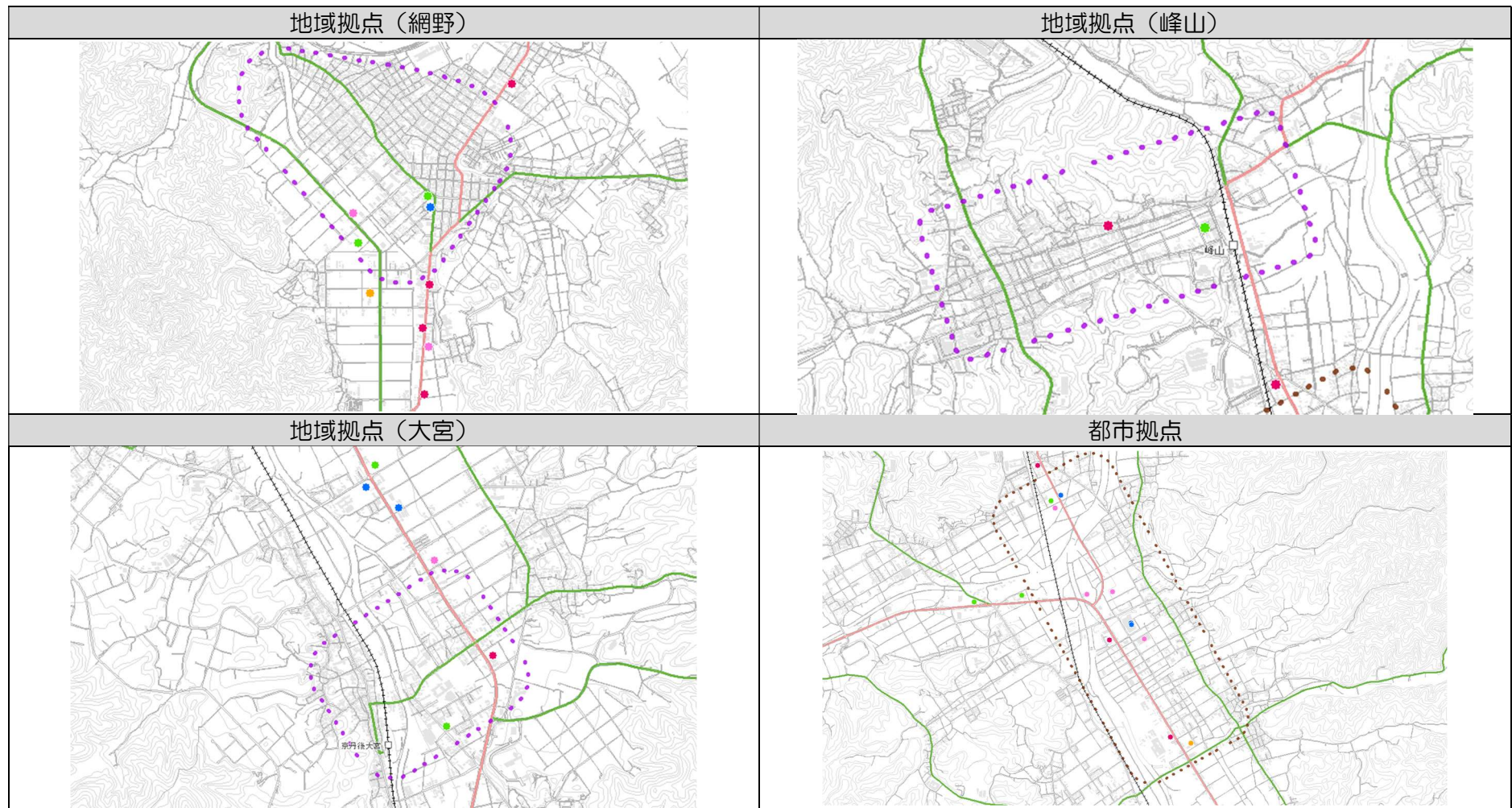
出典：商業統計調査、経済センサス

- コンビニエンスストア、スーパーマーケット、ドラッグストア、ホームセンターなどの小売店舗は京丹後大宮駅や峰山駅、網野駅周辺、国道 312 号などの幹線道路沿道への立地がみられます。特に京丹後大宮駅から峰山駅間に集積立地がみられます。

【小売店舗の分布状況】



【拠点での小売店舗分布拡大図】



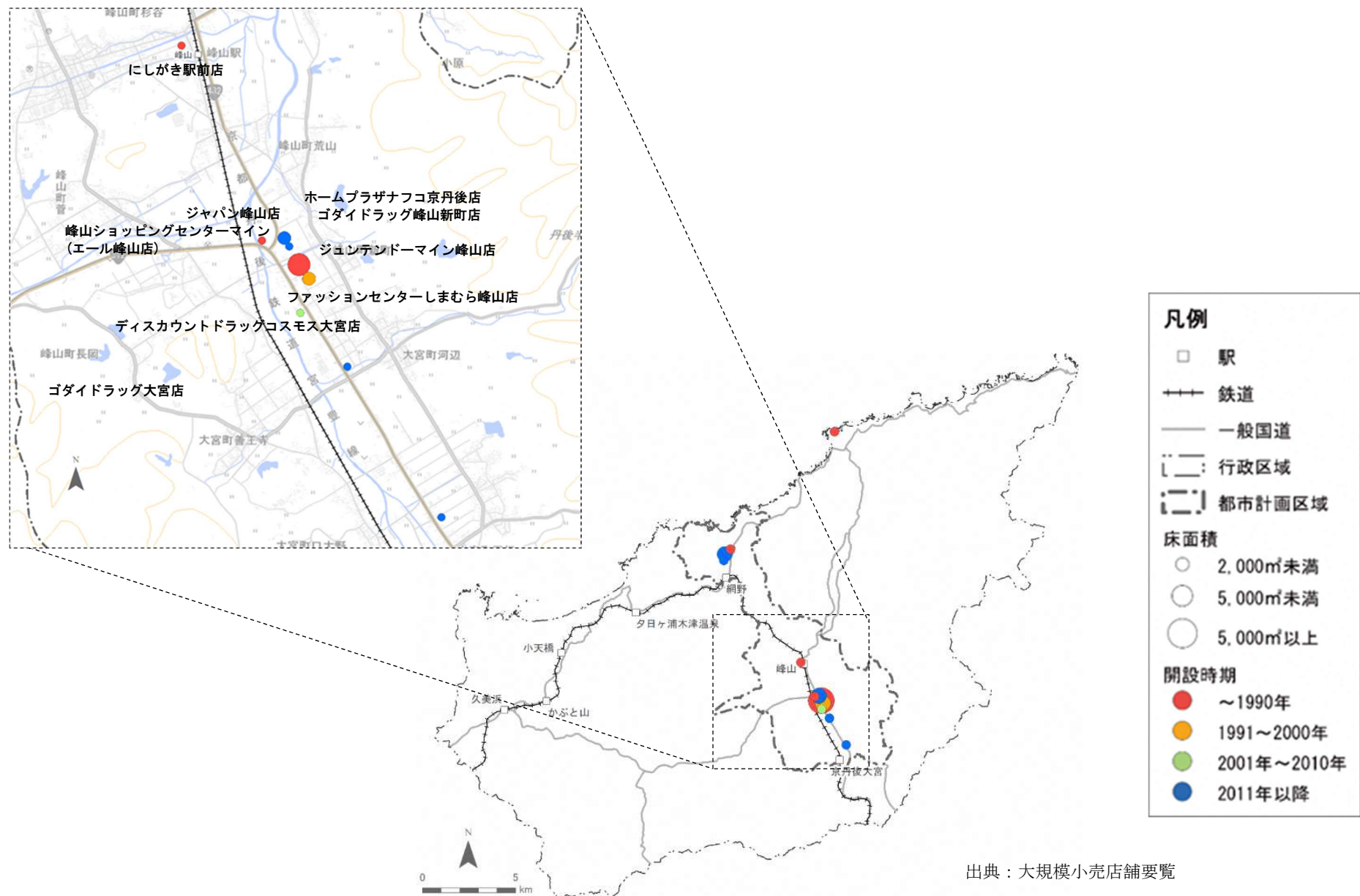
- ・大規模小売店舗（店舗面積 1,000 m²以上）は、国道 312 号などの幹線道路沿道への立地がみられます。特に京丹後大宮駅から峰山駅間に集積立地がみられます

【大規模小売店舗（店舗面積 1, 000 m²以上）一覧】

施設名	所在地	開店年	店舗面積順
			店舗面積
峰山ショッピングセンターメイン（エール峰山店）	峰山町新町	1989 年	10, 321 m ²
ジュンテンドーメイン峰山店	峰山町新町	1998 年	4, 000 m ²
ホームプラザナフコ京丹後店	峰山町新町	2015 年	4, 000 m ²
ゴダイドラッグ網野店	網野町網野	2014 年	2, 007 m ²
ディスカウントドレックコスモス大宮店	大宮町河辺	2017 年	1, 608 m ²
ゴダイドラッグ峰山新町店	峰山町新町	2016 年	1, 548 m ²
ディスカウントドレックコスモス網野店	網野町下岡	2017 年	1, 480 m ²
にしがき網野店	網野町網野	1976 年	1, 479 m ²
ジャパン峰山店	峰山町長岡	1991 年	1, 417 m ²
ゴダイドラッグ大宮店	大宮町周枳	2014 年	1, 348 m ²
にしがき駅前店	峰山町杉谷	1979 年	1, 319 m ²
ファッションセンターしまむら峰山店	峰山町新町	2003 年	1, 222 m ²
にしがき間人店	丹後町間人	1979 年	1, 134 m ²

※大規模小売店舗：店舗面積が 1, 000 m²以上の店舗（2022（R4）年

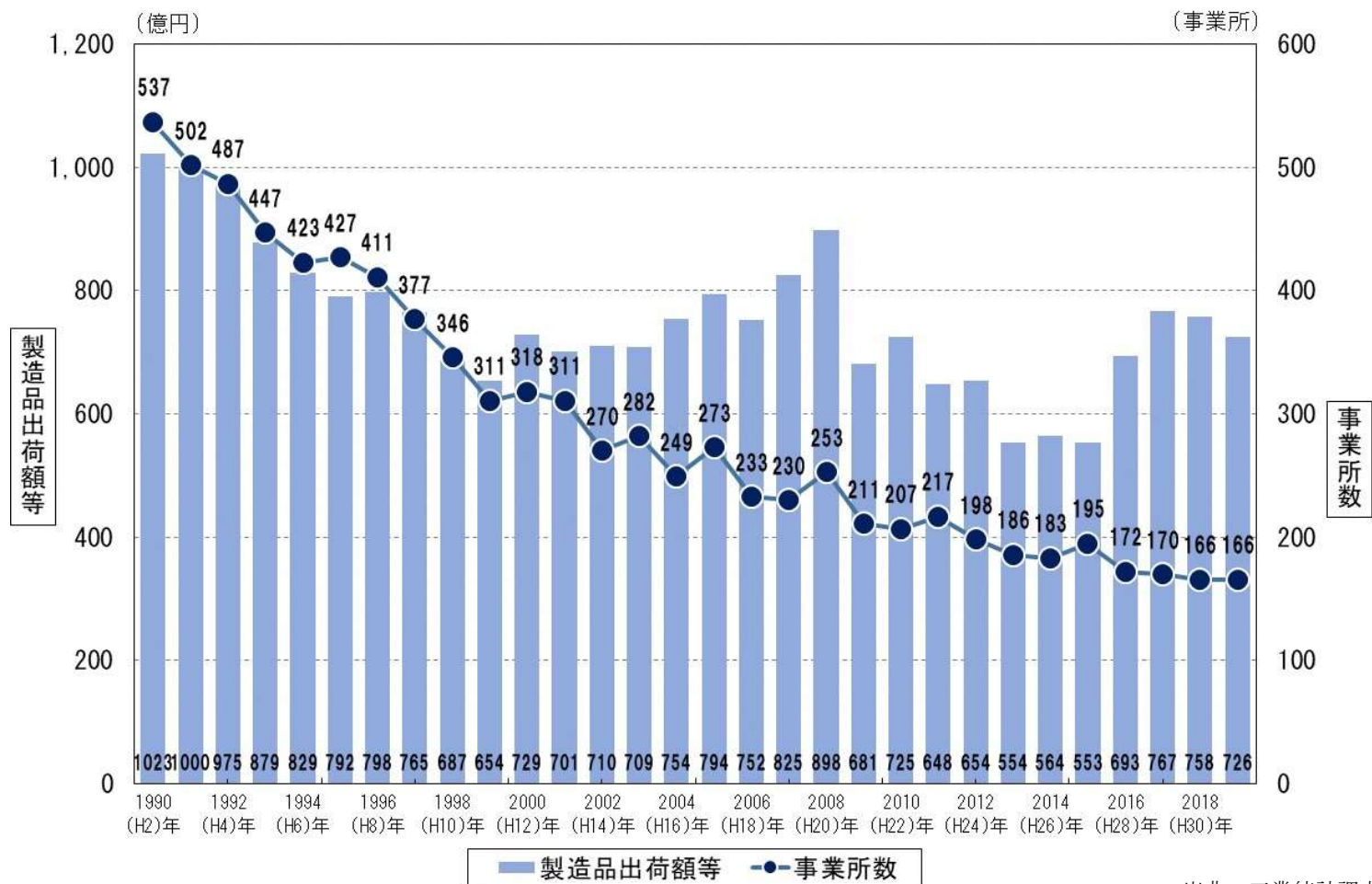
【大規模小売店舗の立地状況】



(2) 工業の状況

- ・事業所数は減少から近年は横ばい傾向が続いています。
- ・製造品出荷額等は 2015(27) 年以降増加から横ばい傾向となっています。

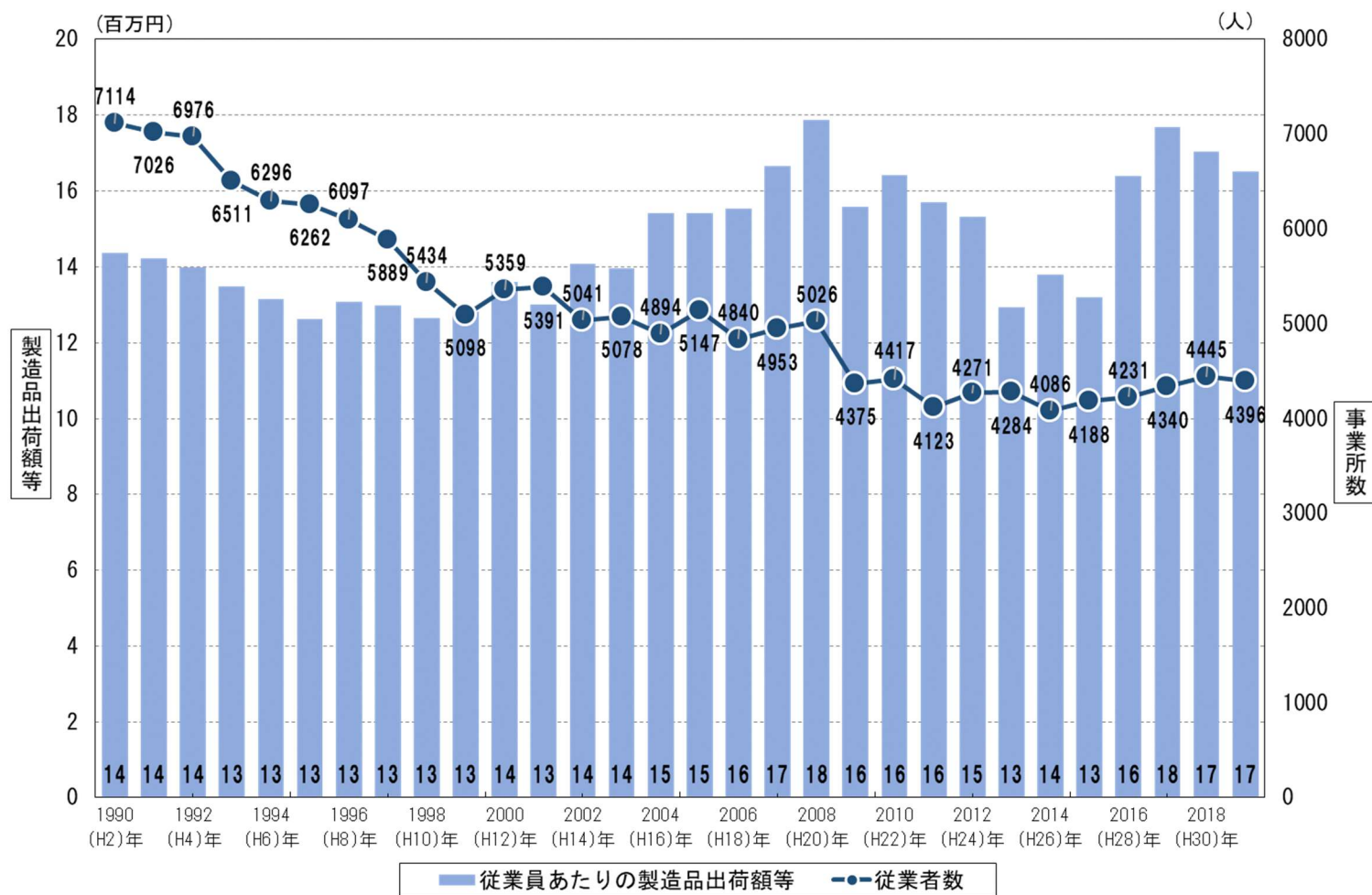
【製造品出荷額等および事業所数の推移】※注 従業員 4 人以上の事業所



出典：工業統計調査、経済センサス

- ・従業者数は、減少傾向から横ばい微増傾向で推移しています。

【従業者数および従業員あたりの出荷額の推移】※注 従業員4人以上の事業所



出典：工業統計調査、経済センサス

【工業地および工業団地の分布状況】



出典：工業統計調査、経済センサス

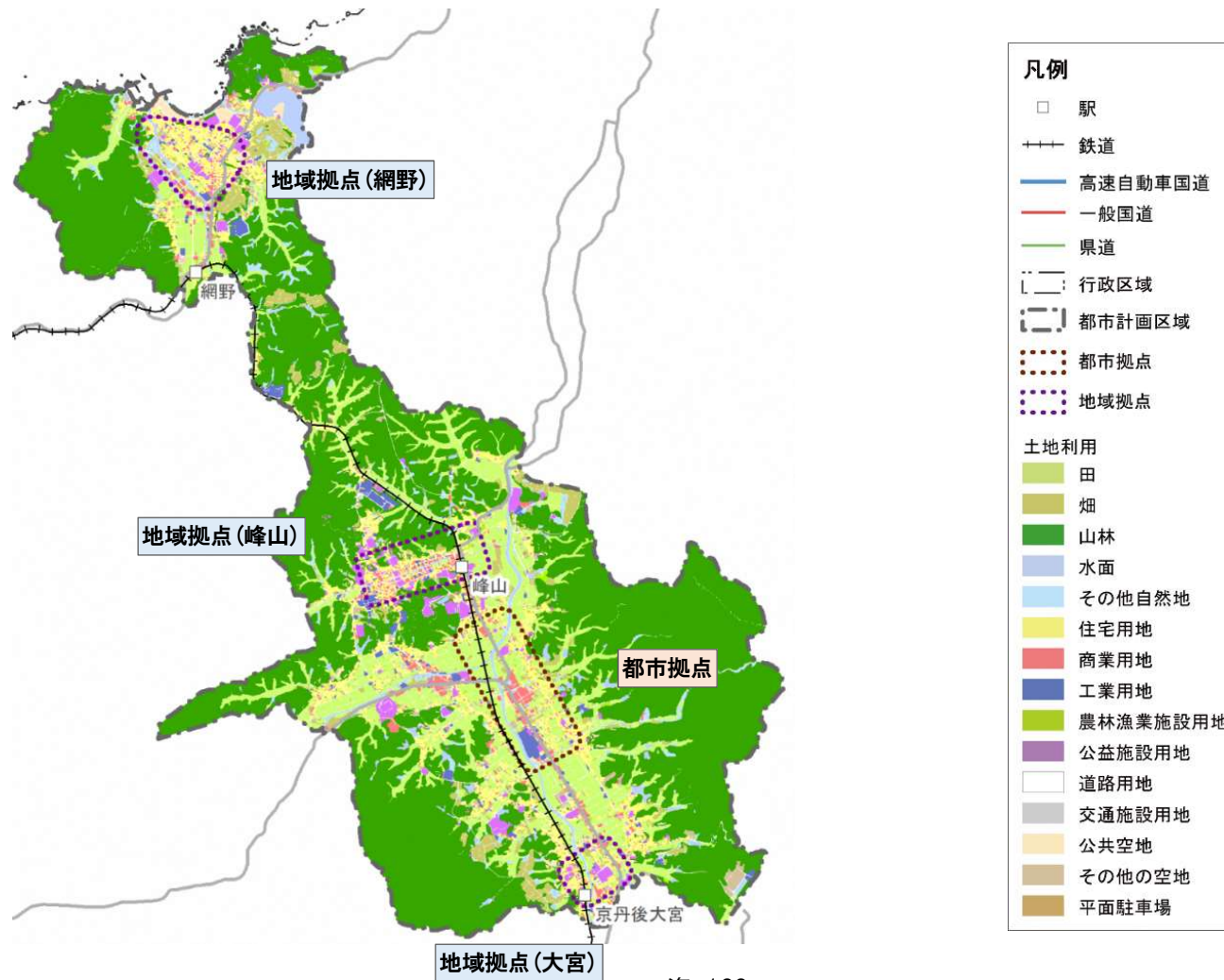
2-3 土地利用の動向

(1) 土地利用の現況

ア 土地利用の状況

- ・ 国道等幹線道路沿道に住宅地が広く分布し、拠点に一定の商業地の集積がみられます。

【土地利用の状況（都市計画区域内）】

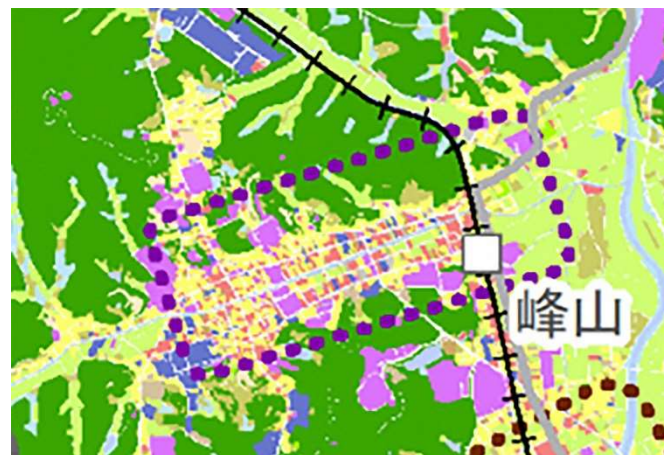


拠点周辺拡大図

【地域拠点(網野)周辺の土地利用現況】



【地域拠点(峰山)周辺の土地利用現況】



【地域拠点(大宮)周辺の土地利用現況】



【都市拠点周辺の土地利用現況】

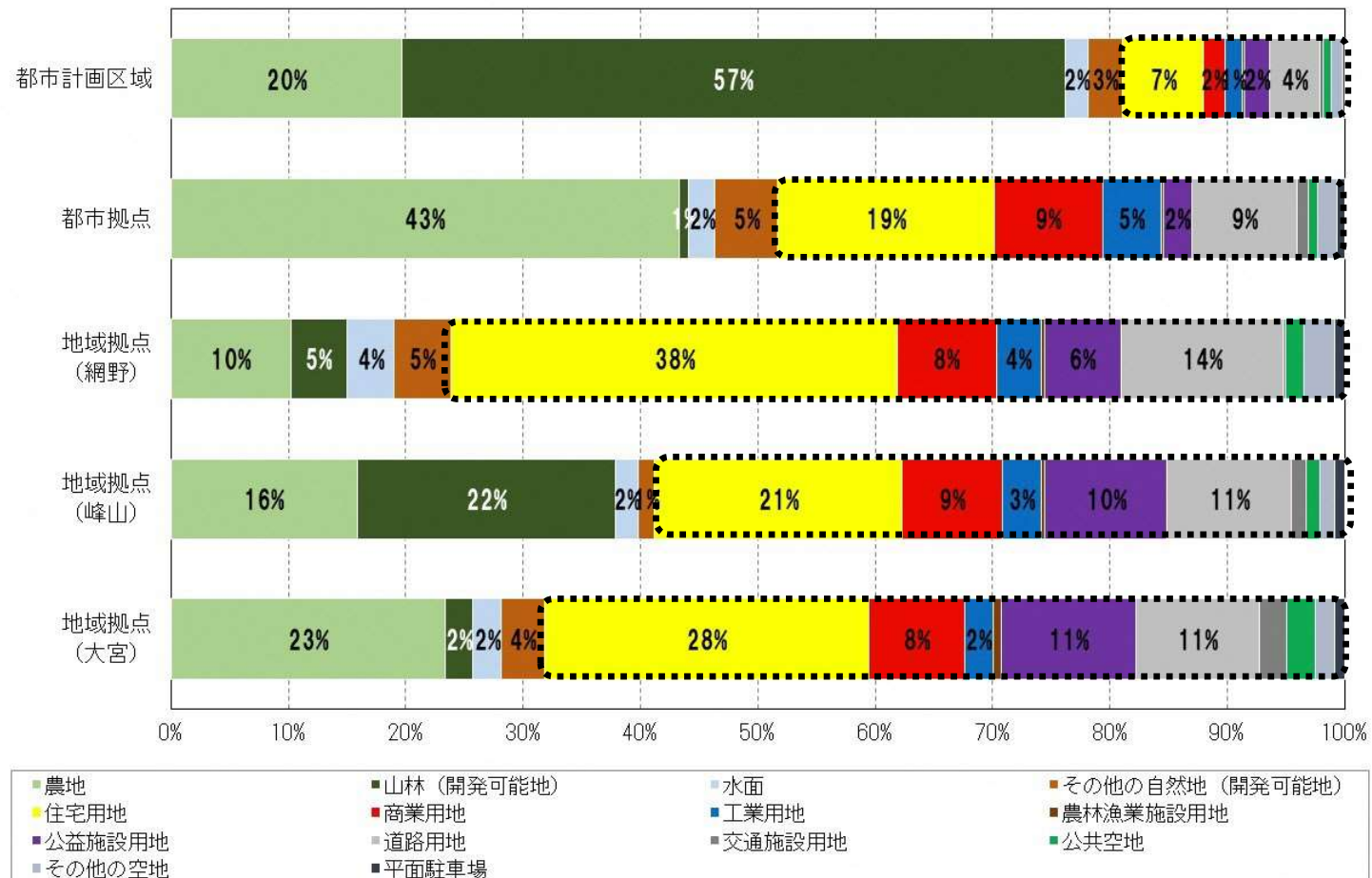


凡例

- 駅
 - +++ 鉄道
 - 高速自動車国道
 - 一般国道
 - 県道
 - - - 行政区域
 - - - 都市計画区域
 - 都市拠点
 - 地域拠点
-
- 土地利用
- 田
 - 畑
 - 山林
 - 水面
 - その他自然地
 - 住宅用地
 - 商業用地
 - 工業用地
 - 農林漁業施設用地
 - 公益施設用地
 - 道路用地
 - 交通施設用地
 - 公共空地
 - その他の空地
 - 平面駐車場

- 「京丹後市都市計画マスタープラン」で拠点として位置づけるエリアでは、地域拠点の駅周辺では都市的土地利用が70%程度、都市拠点では50%程度です。

【拠点別の土地利用区分別割合】

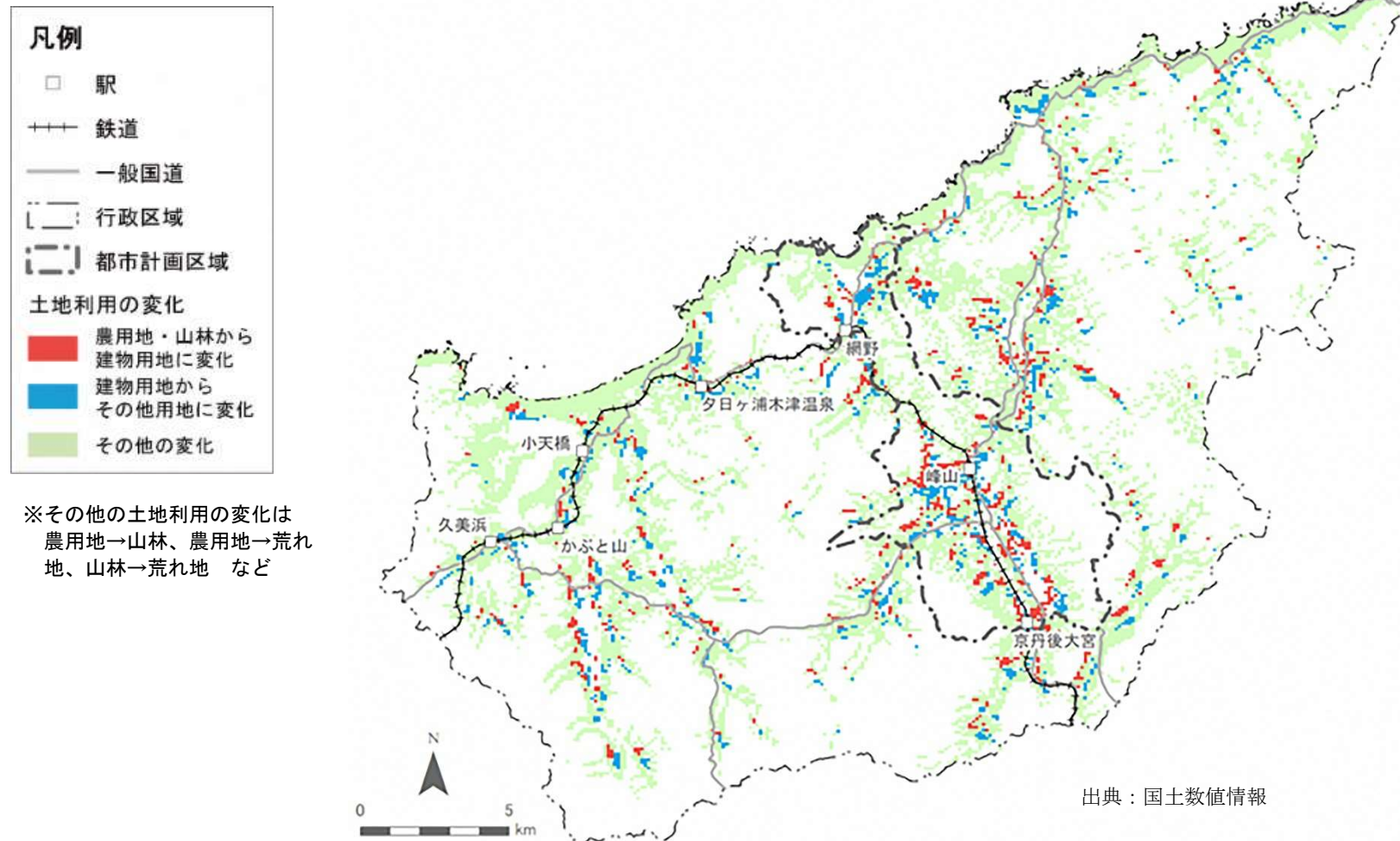


出典：都市計画基礎調査

イ 土地利用の変化

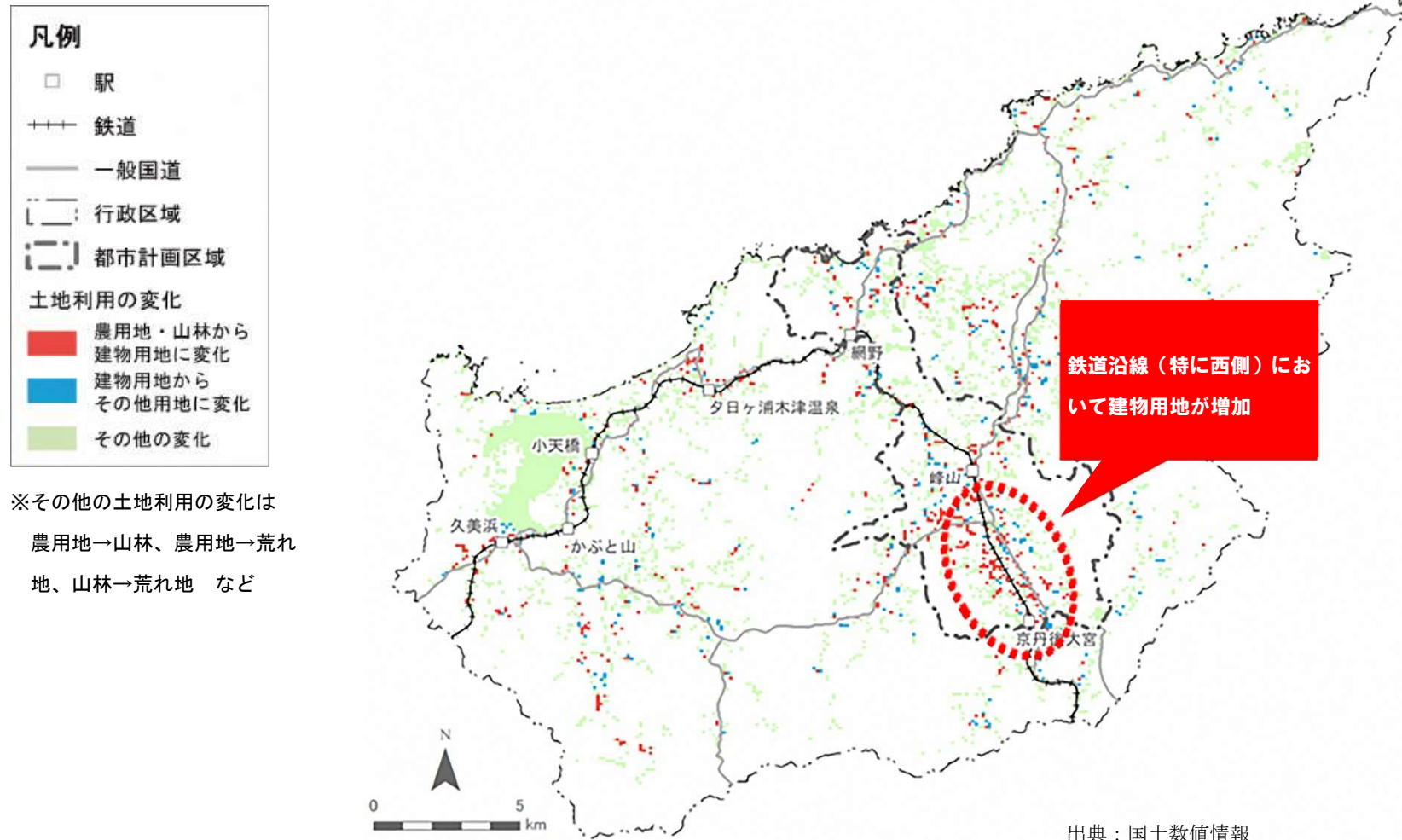
- ・1987年から30年間の土地利用の変化では、市域全体にわたって、農用地等から建物用地への転換が進む一方で、建物の除却により他用途への転換がみられます。

【土地利用の変化(1987年→2016年)】



- ・近年 10 年間の変化では、市域全体で土地利用転換が見られるものの、特に京丹後大宮駅から峰山駅間の国道 312 号沿道における農用地等から建物用地への土地利用転換が顕著となっています。

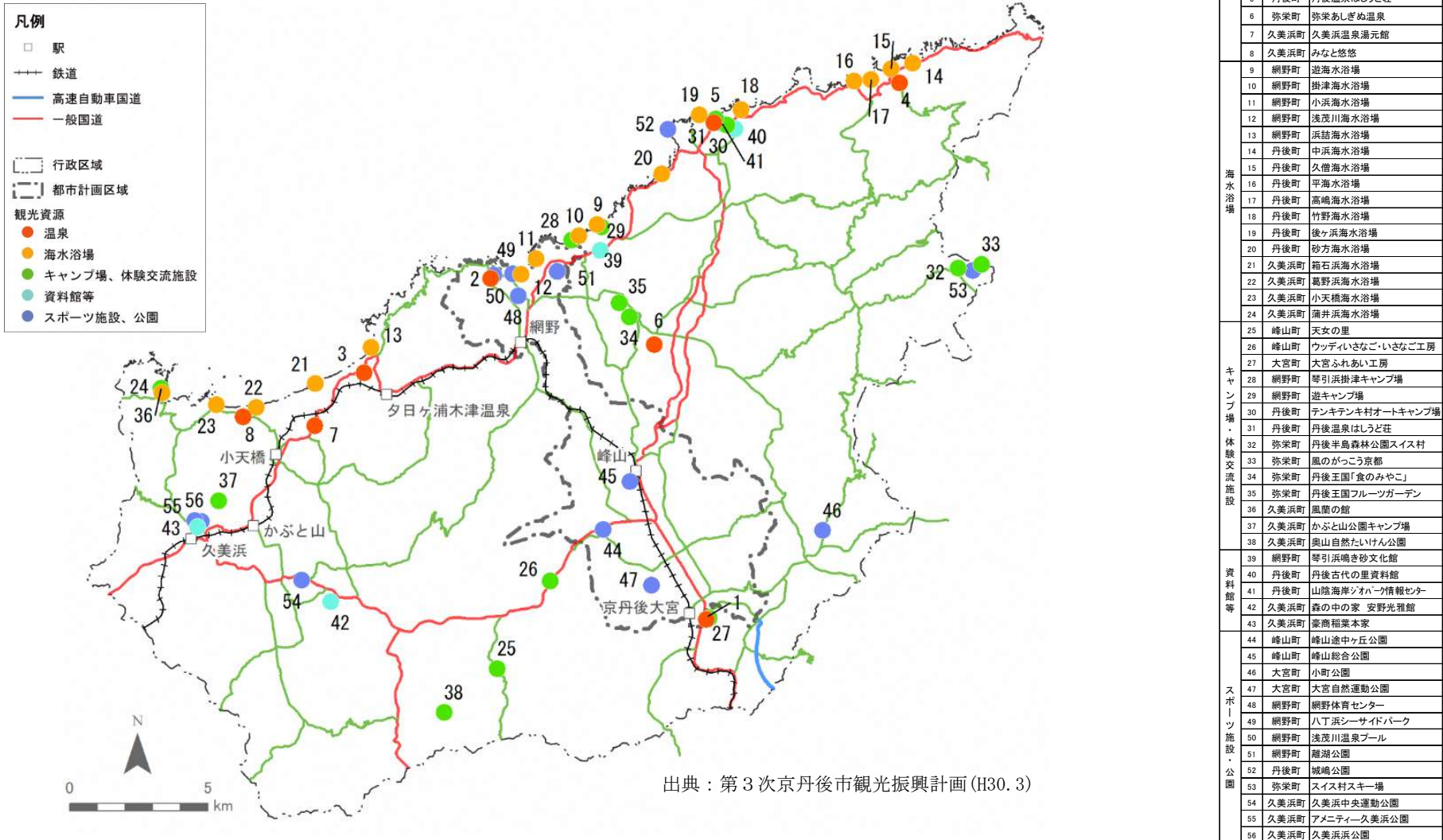
【土地利用の変化(2006(H18)年→2016(H28)年)】



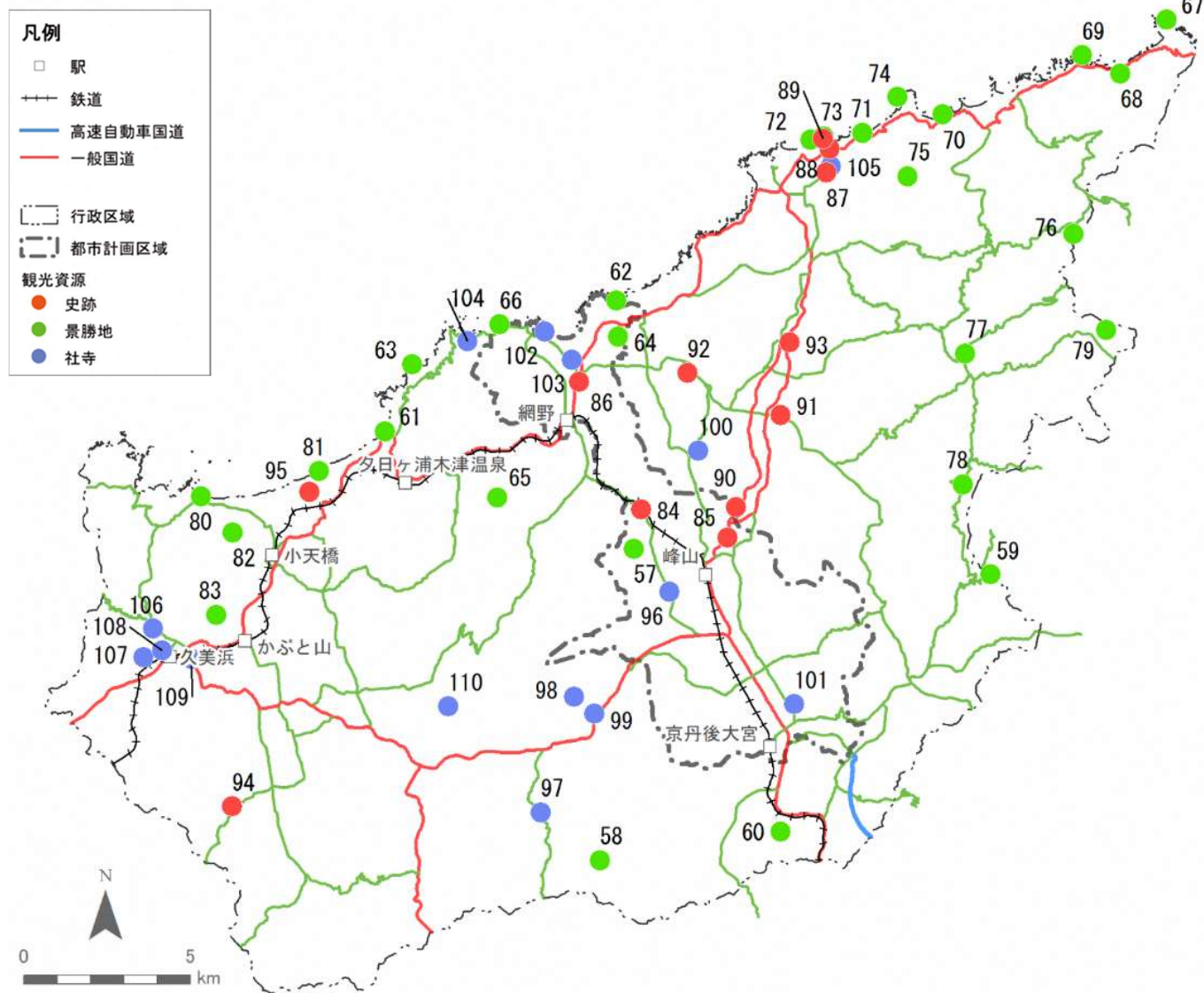
ウ 地域資源の分布状況

- ・海水浴場やキャンプ場、スポーツ施設などのレクリエーション関連の地域資源が広く分布しています。

【地域資源(レクリエーション施設等)の分布状況】



【地域資源(景勝地・史跡等)の分布状況】



	地域	名 称
景勝地	57 峰山町	権現山
	58 峰山町	磯砂山
	59 大宮町	内山ブナ林
	60 大宮町	崇山森林公園
	61 網野町	夕日ヶ浦
	62 網野町	琴引浜
	63 網野町	五色浜
	64 網野町	離湖
	65 網野町	霧降りの滝
	66 網野町	最北子午線塔
	67 丹後町	経ヶ岬
	68 丹後町	袖志の棚田
	69 丹後町	穴文殊
	70 丹後町	丹後松島
	71 丹後町	屏風岩
	72 丹後町	立岩
	73 丹後町	大成古墳群
	74 丹後町	青の洞窟、夢の洞窟
	75 丹後町	依遅ヶ尾山
	76 丹後町	碓高原
	77 弥栄町	野間川
	78 弥栄町	味土野大滝
	79 弥栄町	太鼓山
	80 久美浜町	小天橋
	81 久美浜町	箱石浜
	82 久美浜町	久美浜湾
	83 久美浜町	かぶと山
史跡	84 峰山町	赤坂今井墳墓
	85 峰山町	湧田山古墳群
	86 網野町	網野鉢子山古墳
	87 丹後町	神明山古墳
	88 丹後町	産土山古墳
	89 丹後町	大成古墳群
	90 弥栄町	大田南古墳群
	91 弥栄町	奈具岡遺跡
	92 弥栄町	遠所遺跡
	93 弥栄町	黒部鉢子山古墳
	94 久美浜町	湯舟坂古墳2号墳
	95 久美浜町	図石浜遺物包含地
社寺	96 峰山町	金刀比羅神社
	97 峰山町	乙女神社
	98 峰山町	比沼麻奈為神社
	99 峰山町	慶徳院
	100 峰山町	縁城寺
	101 大宮町	大宮売神社
	102 網野町	嶋児神社
	103 網野町	網野神社
	104 網野町	静の社・静神社
	105 丹後町	竹野神社
	106 久美浜町	如意寺
	107 久美浜町	宗雲寺
	108 久美浜町	神谷神社
	109 久美浜町	本願寺
	110 久美浜町	円頓寺

(2) 開発の動向

ア 土地利用の状況

- ・開発許可等の状況では、都市計画区域内においては住居系や商業系の開発の割合が多くっています。都市計画区域外においては、その他の開発（砂利・採石など）が多くなっています。
- ・農地転用では、住居系及び商業系が大半を占めています。国道 312 号などの幹線道路沿道や駅周辺に集中しています。

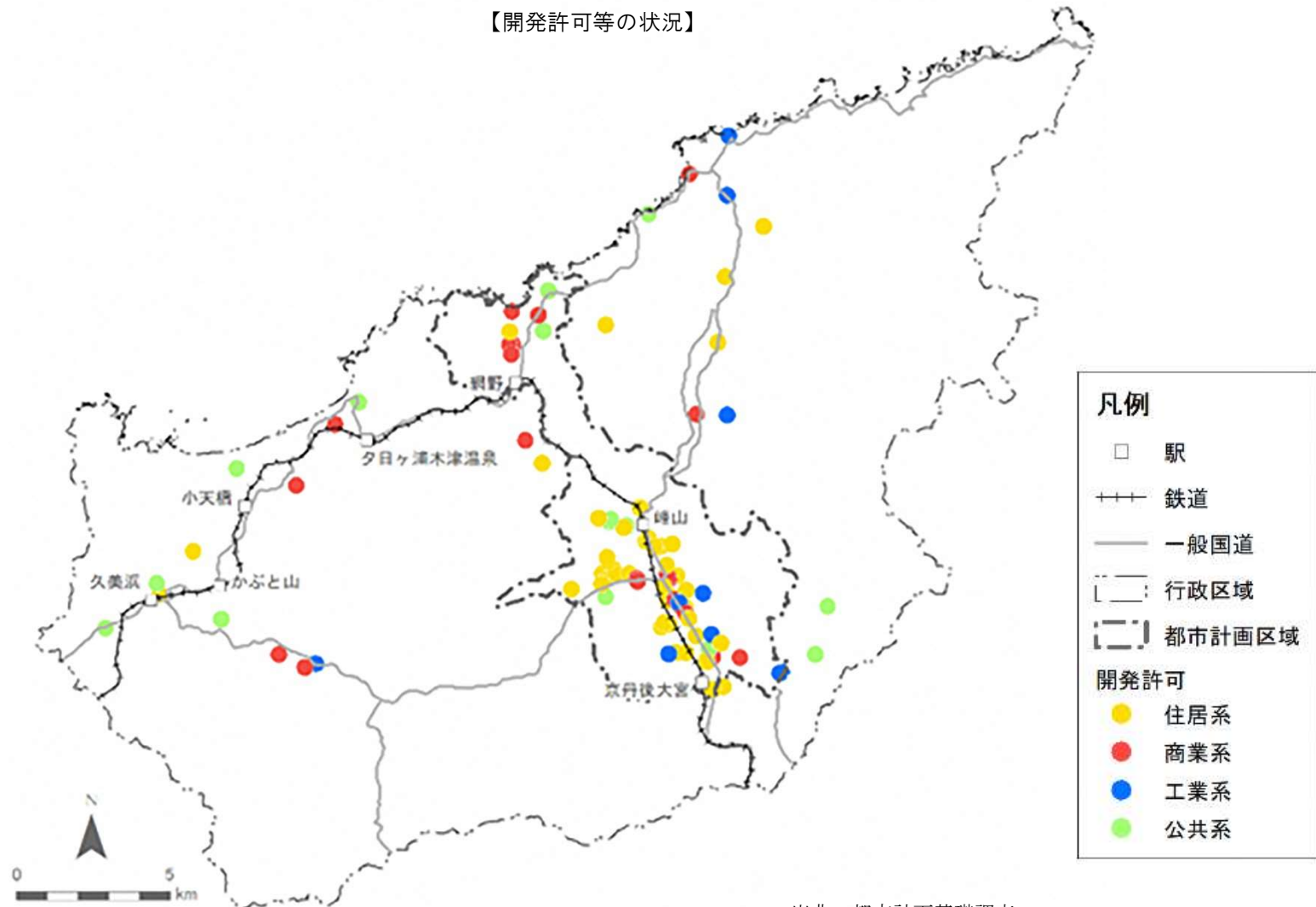
【区域別の開発許可・農地転用の状況】

			住居系	商業系	工業系	公共系	その他	計
開発許可等	都市計画区域	件数	45 件	15 件	6 件	8 件	13 件	87 件
		面積	6.22ha	6.35ha	1.09ha	1.04ha	3.34ha	18.04ha
	都市計画区域外	件数	9 件	8 件	4 件	9 件	64 件	94 件
		面積	3.95ha	1.40ha	1.39ha	3.97ha	47.58ha	58.29ha
農地転用	都市計画区域	件数	118 件	52 件	3 件	3 件	60 件	236 件
		面積	5.18ha	4.42ha	0.23ha	0.21ha	3.12ha	13.15ha
	都市計画区域外	件数	84 件	22 件	9 件	8 件	153 件	276 件
		面積	3.61ha	1.01ha	0.77ha	0.12ha	9.28ha	14.80ha

出典：都市計画基礎調査

- 国道 312 号などの幹線道路沿道や駅周辺に開発許可等が集中しています。

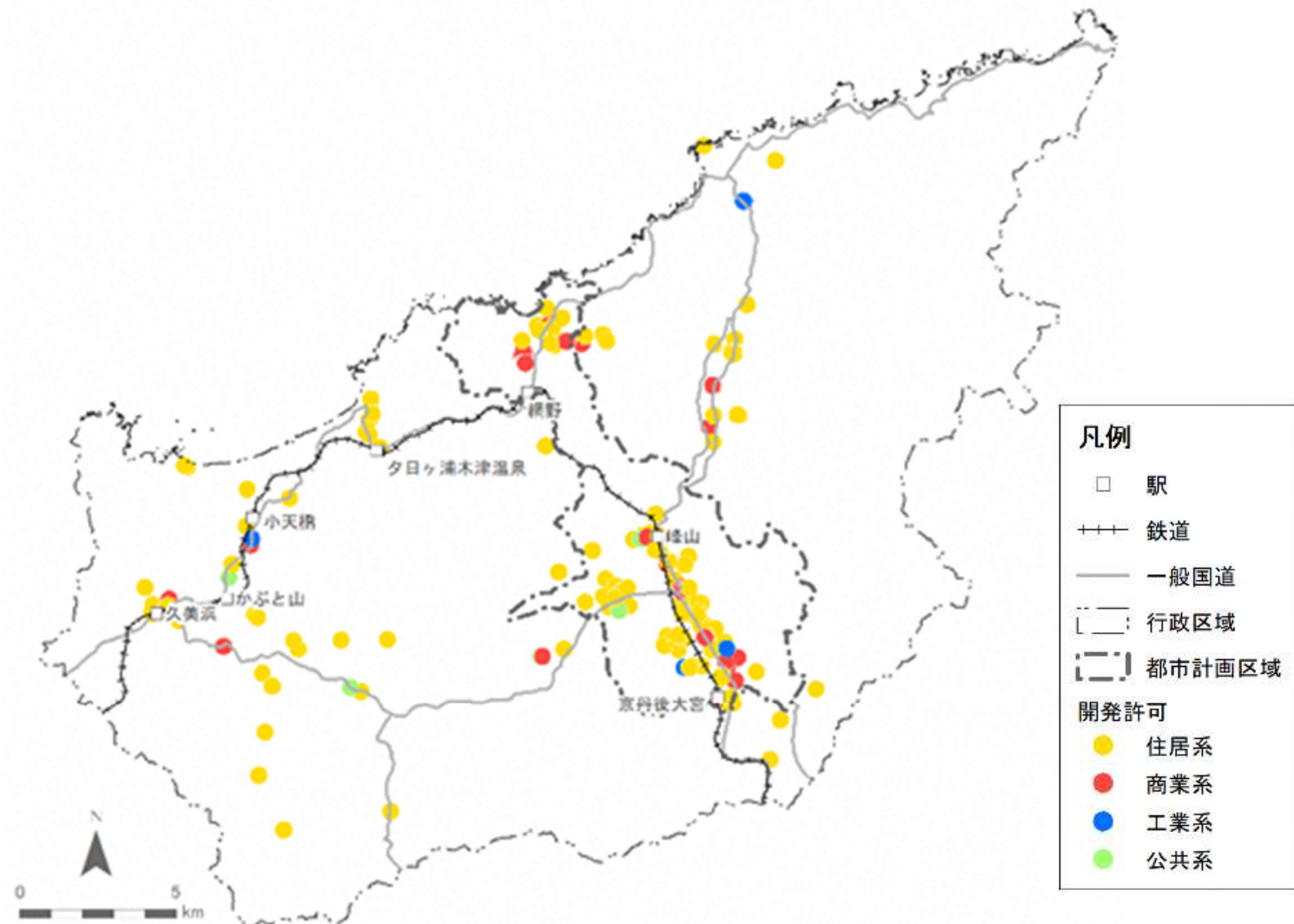
【開発許可等の状況】



出典：都市計画基礎調査

- ・国道 312 号などの幹線道路沿道や駅周辺に農地転用が集中しています。

【農地転用の状況】

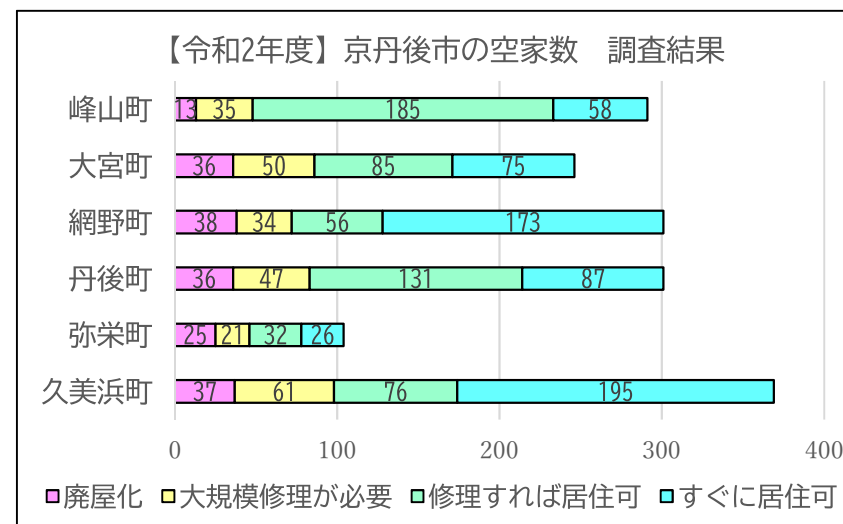
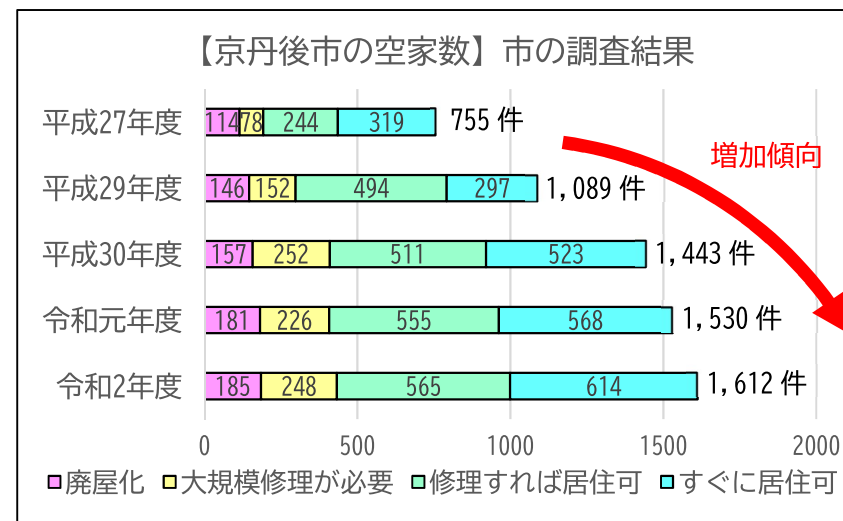
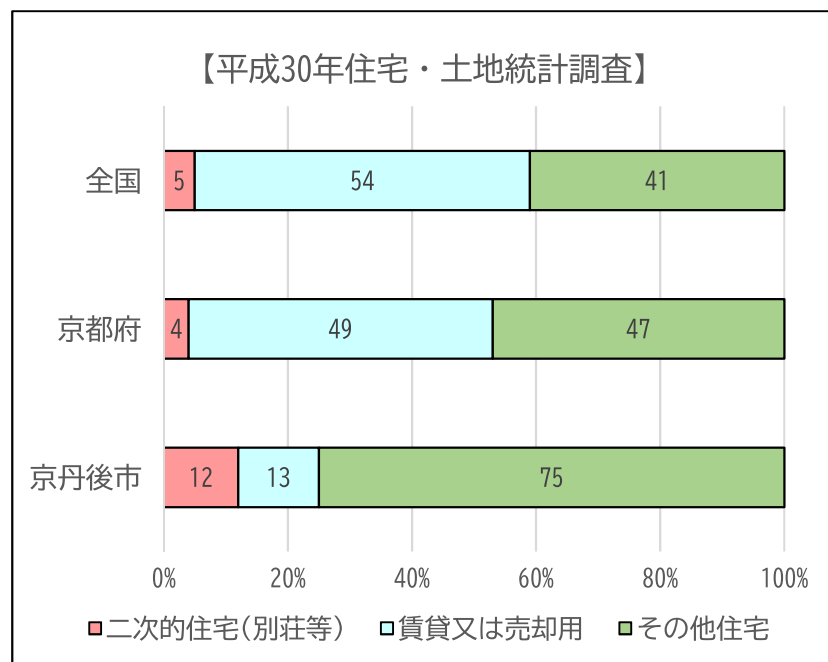


出典：都市計画基礎調査

（３）未利用地等の状況

- ・空家数は、全国や京都府と比較し、京丹後市では「その他住宅」の割合が高く、対策が必要な空家が多くなっています。

※その他住宅とは、売却や賃貸に出しておらず、定期的な利用がされていない状態のもの

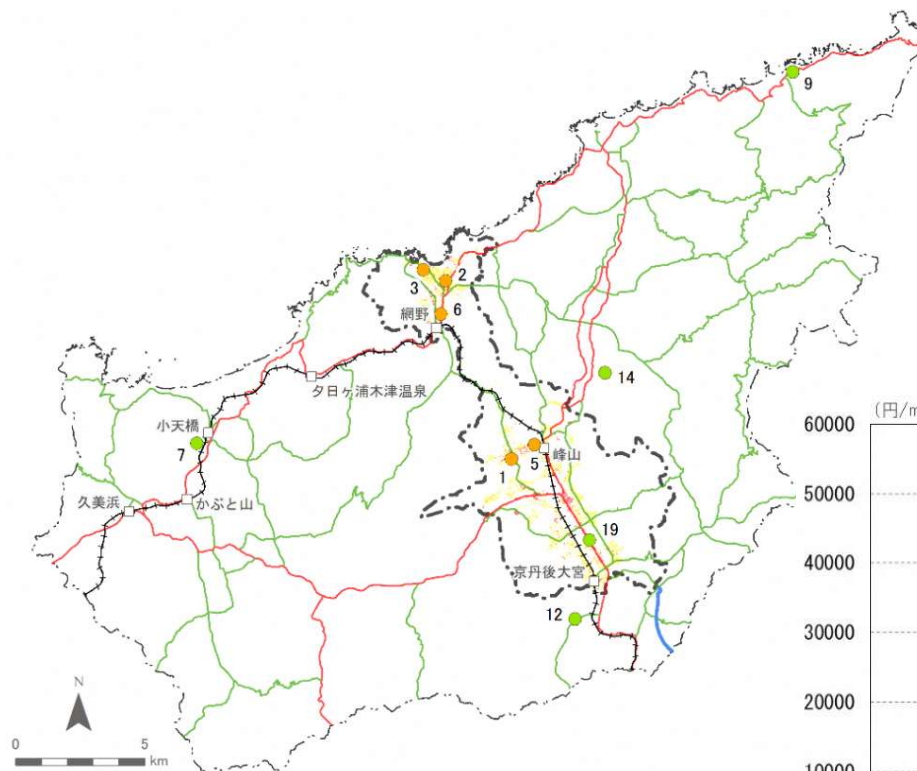


(4) 地価の動向

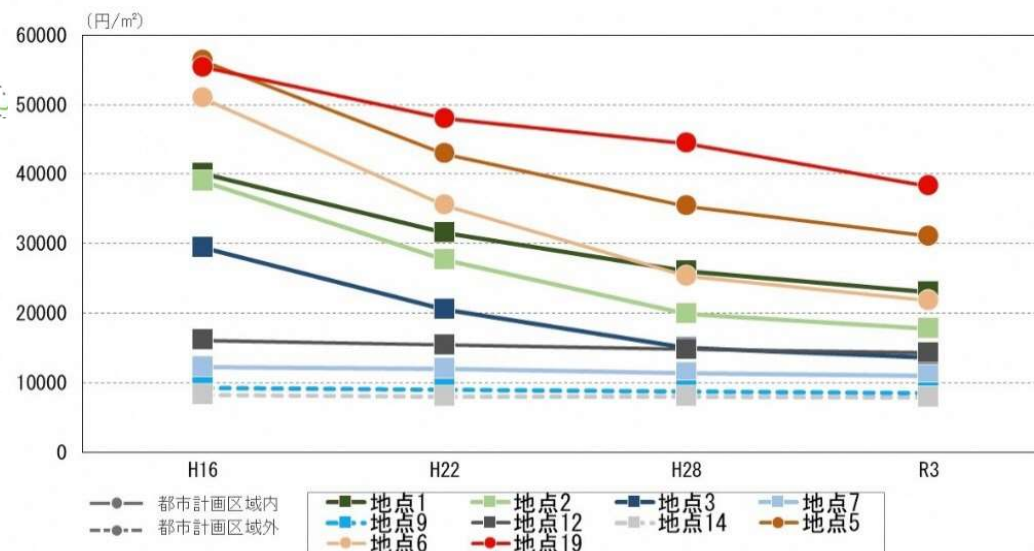
- ・地価の動向では、各調査地点とも減少傾向で推移していたものが、近年は横ばい傾向が続いています。調査地点別では、都市計画区域内外（地点3及び19）において、2002(H14)年には最大18倍の地価の差が見られたものが、2021(R3)年には11倍にまで差が縮小するなど、調査地点間における地価の差が縮小しています。

【地価公示価格および都道府県地価調査の推移】

【地価公示価格および都道府県地価調査地点】



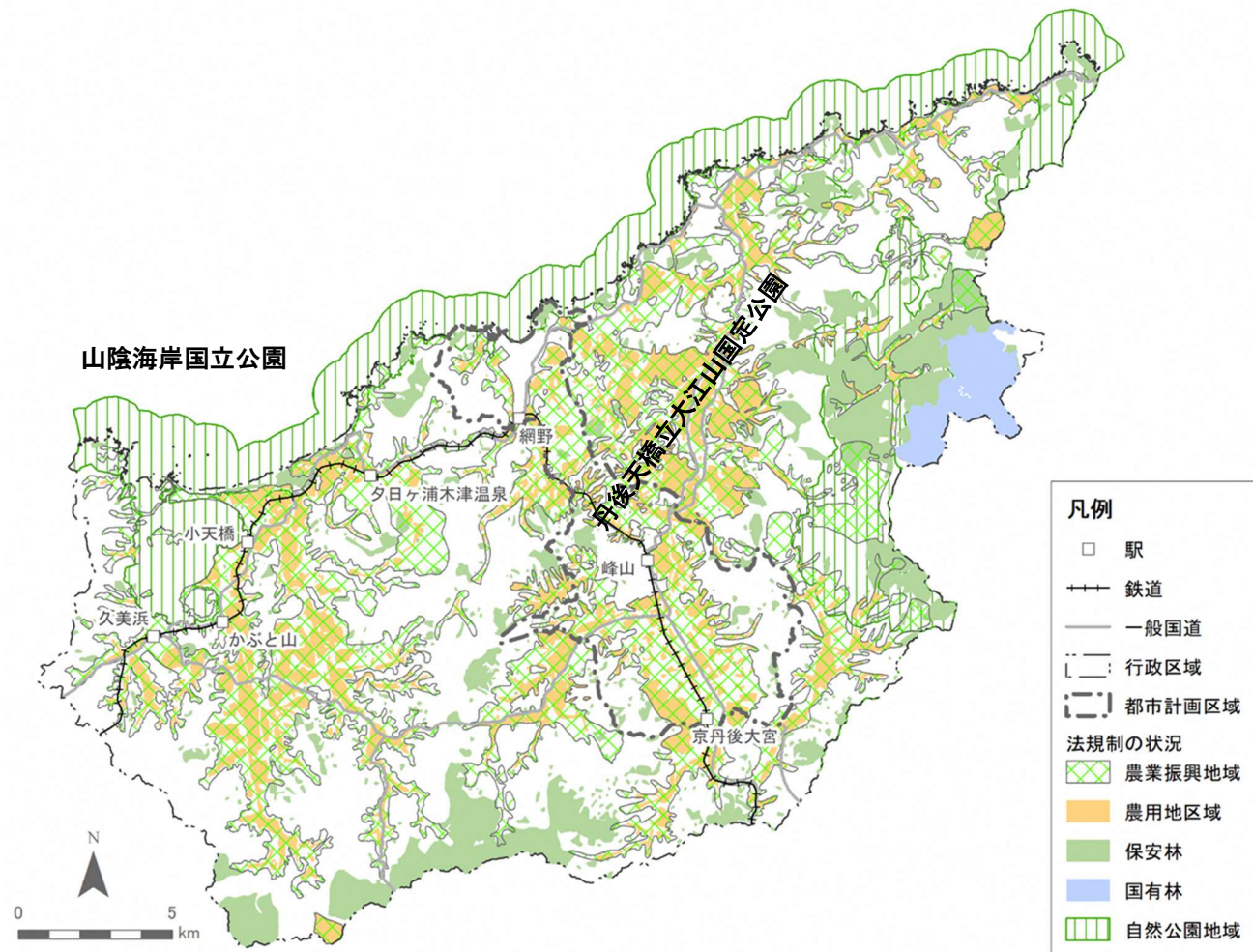
	公示価格 (円/㎡)				利用状況	住所 (所在および地番)
	2004 (H16) 年	2010 (H22) 年	2016 (H28) 年	2021 (R3) 年		
地点1	40,000	31,500	26,000	23,000	住宅	京丹後市峰山町御旅36番1
地点2	38,900	27,700	19,900	17,800	住宅	京丹後市網野町網野小字住吉2708番34
地点3	29,400	20,500	15,000	13,600	住宅	京丹後市網野町浅茂川小字温泉8番
地点7	12,300	12,000	11,400	11,000	住宅	京丹後市久美浜町浦明小字上地1362番
地点9	9,300	9,000	8,740	8,560	住宅	京丹後市丹後町久僧小字中道1026番ほか1筆
地点12	16,100	15,400	14,800	14,300	住宅	京丹後市大宮町奥大野小字三反田406番1
地点14	8,200	8,030	7,980	7,850	住宅	京丹後市弥栄町堤小字荒木453番
地点5	56,300	42,900	35,400	31,100	事務所	京丹後市峰山町杉谷小字下近江832番2
地点6	50,900	35,500	25,300	21,800	住宅、店舗	京丹後市網野町小浜小字勝山83番1
地点19	55,400	48,000	44,400	38,300	店舗	京丹後市大宮町河辺小字大屋分1052番1



(5) 法規制等の状況

- 法規制等の状況では、都市計画区域内外にわたり農用地区域が指定されています。
- 海岸部において、山陰海岸国立公園や丹後天橋立大江山国定公園の自然公園区域に指定されています。

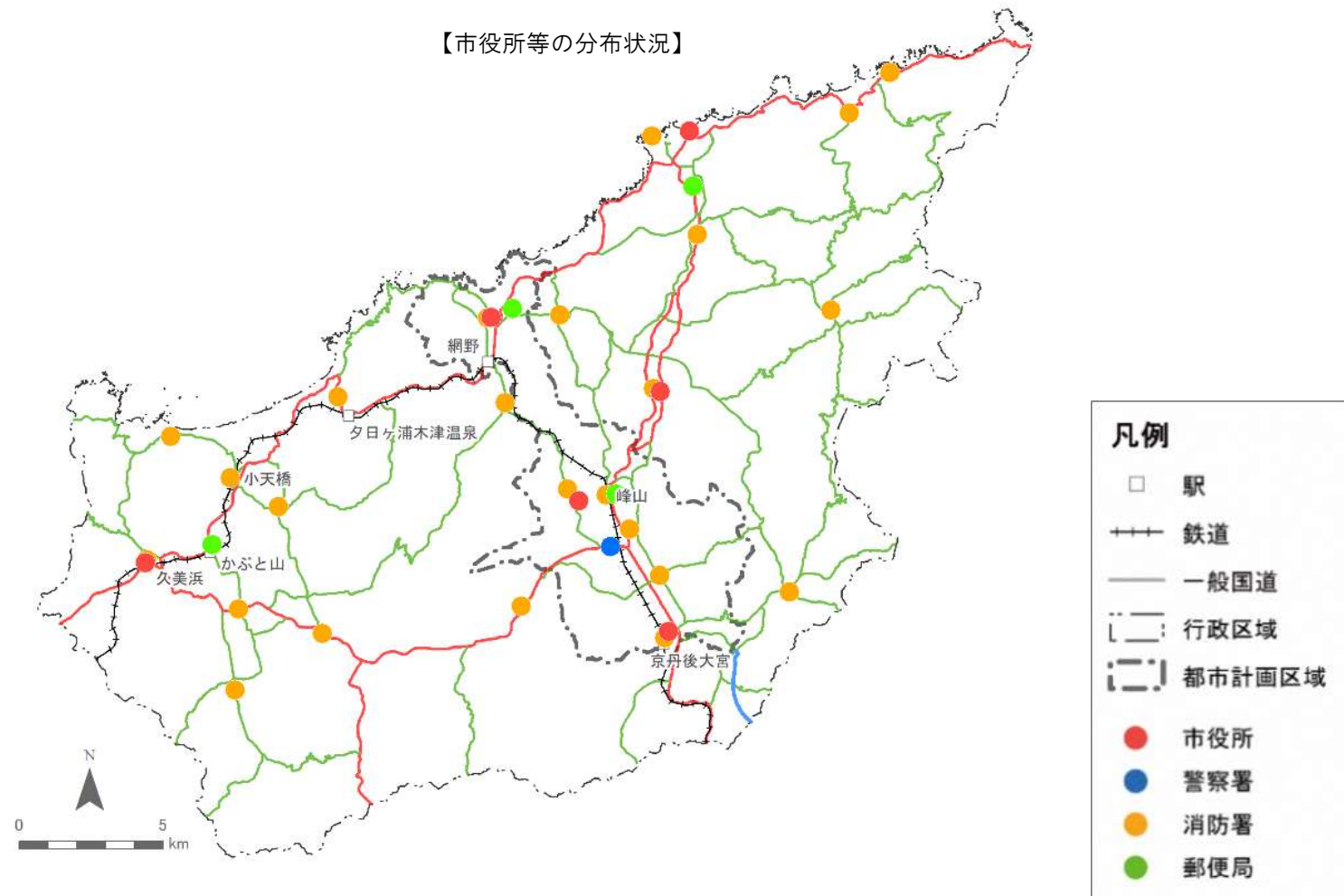
【法規制の状況】



2-4 公共施設等の状況

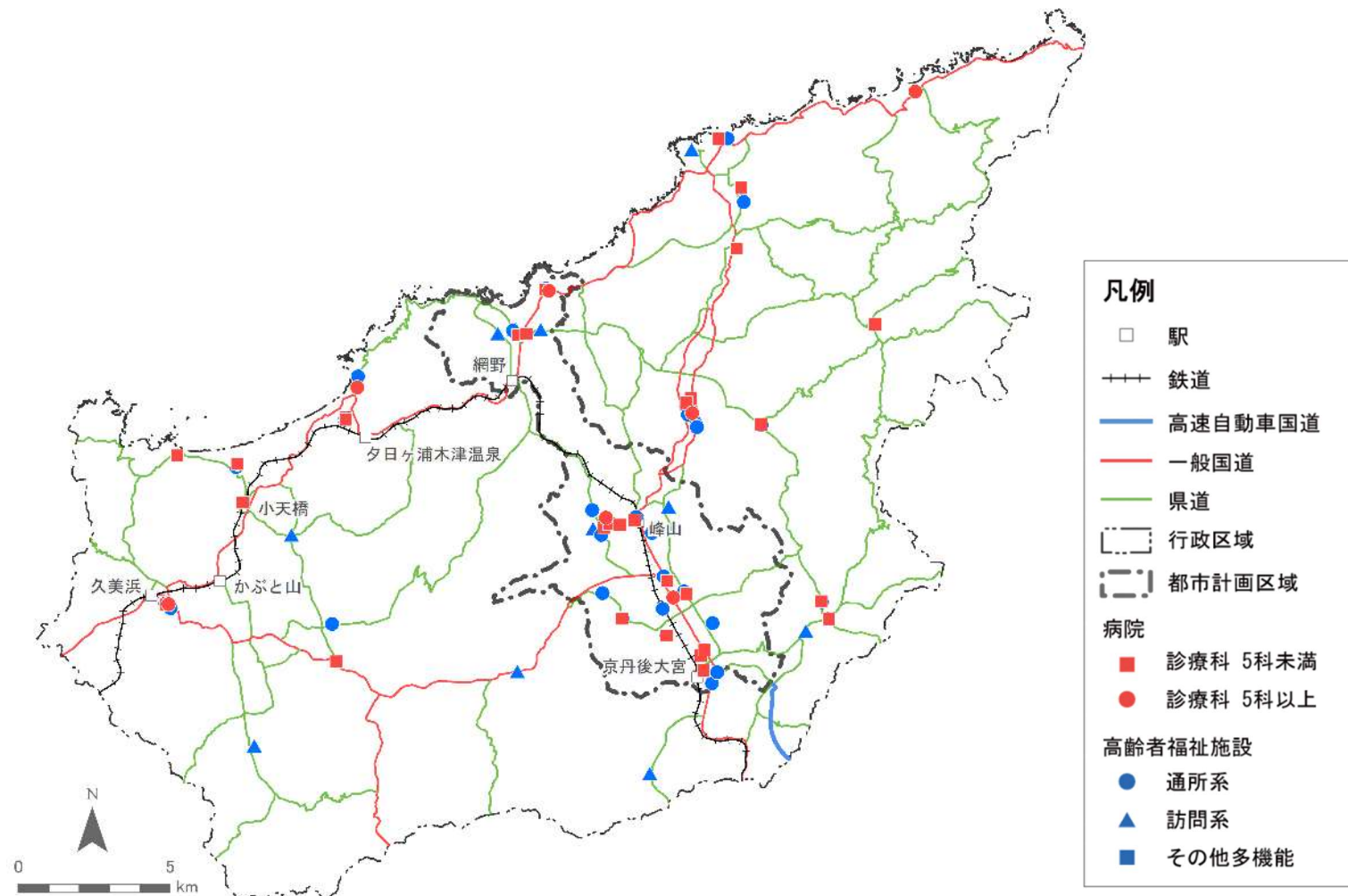
(1) 公共施設の分布状況

- ・市役所等の公的施設は駅周辺に多く分布しています。



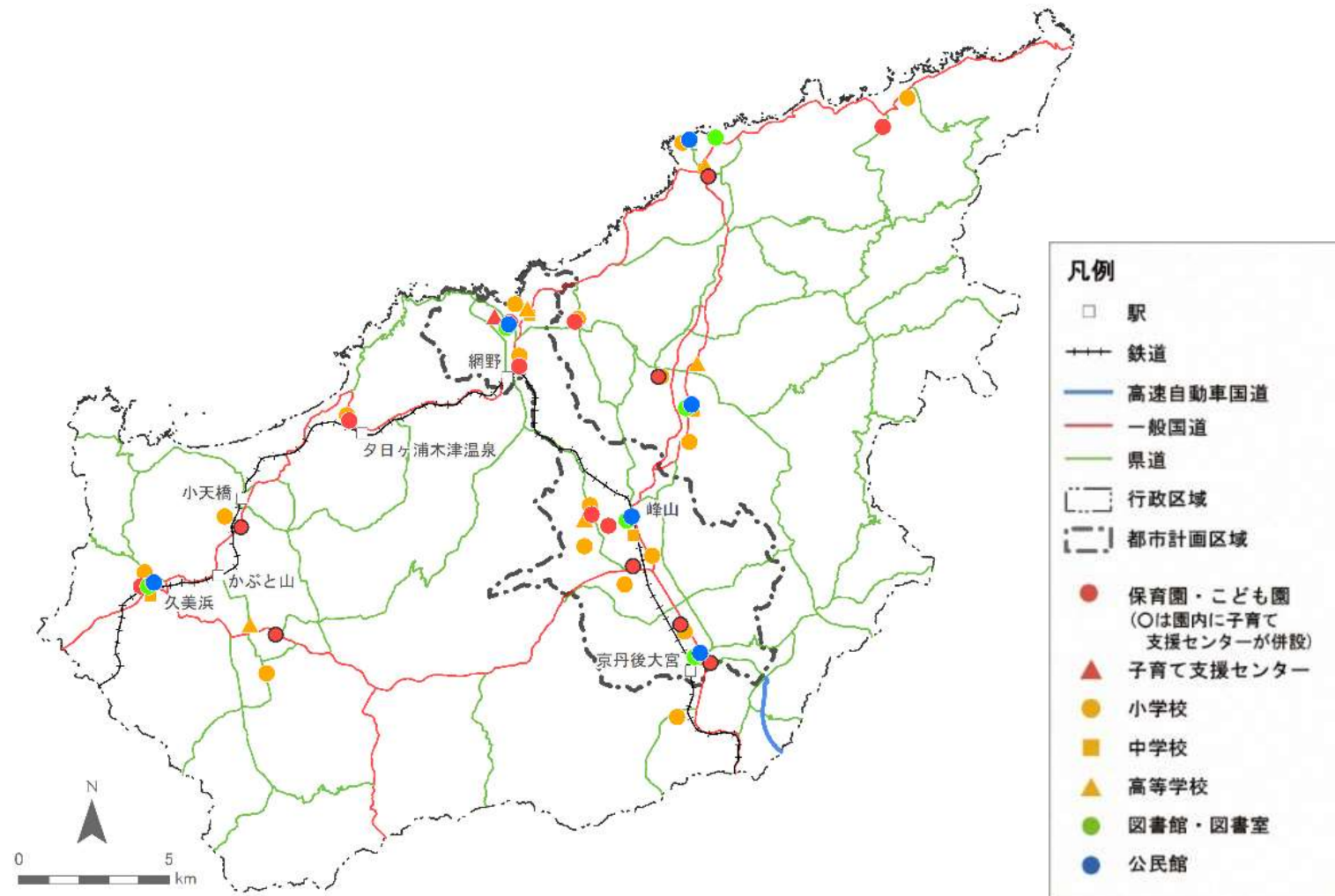
- ・医療・福祉施設は駅周辺に多く分布しています。

【医療・福祉施設の分布状況】



- 学校などの子育て関連施設は駅周辺に多く分布しています。

【子育て関連施設の分布状況】



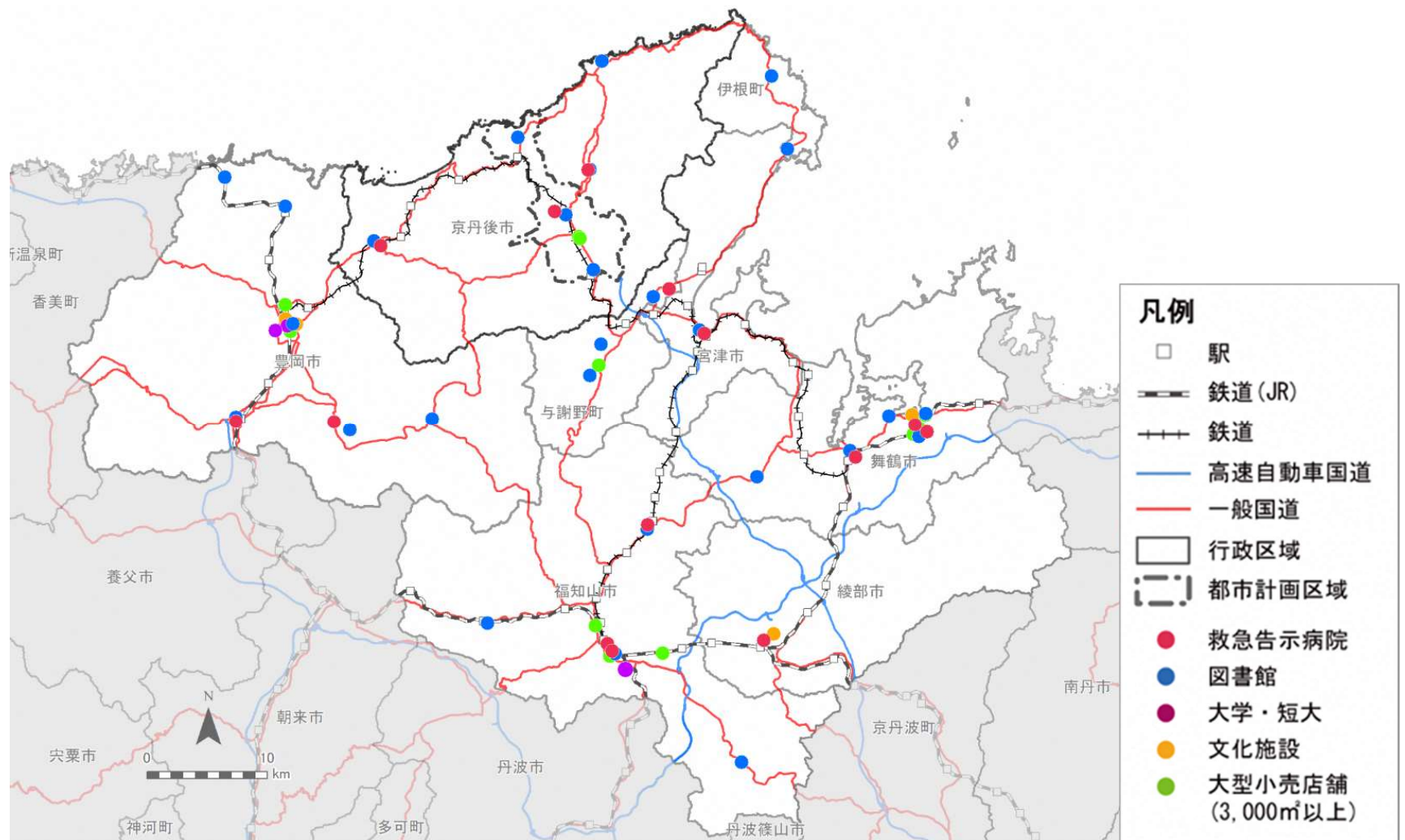
【広域的な利用が見込まれる施設の一覧】

- ・広域的な利用が見込まれる施設は医療施設（3件）、図書館（6件）、文化施設（1件）大型小売店舗（3件）の計13件立地しています。
- ・周辺市町と比較すると医療施設や図書館の立地数は豊岡市と同等または次いで多く立地しています。
教育施設や大型小売店舗の立地数は周辺市町と比較すると、少ない傾向がみられます。

	医療施設 (2次救急・救急告示病院)	図書館	文化施設	教育施設 (大学・短大)	大型小売店舗 (店舗面積3000㎡以上)
京丹後市	1. 公益財団法人 丹後中央病院 2. 京丹後市立弥栄病院 3. 京丹後市立久美浜病院	1. 京丹後市立峰山図書館 2. 京丹後市立あみの図書館 3. 京丹後市立大宮図書室 4. 京丹後市立弥栄図書室 5. 京丹後市立丹後図書室 6. 京丹後市立久美浜図書室	1. 京都市丹後文化会館		1. 峰山ショッピングセンター・メイン(エル峰山店) 2. ジュンテント・メイン峰山店 3. ホームラザナフコ京丹後店
福知山市	1. 市立福知山市民病院 2. 医療法人福富士会 京都ルネス病院	1. 福知山市立図書館中央館 2. 福知山市立図書館三和分館 3. 福知山市立図書館夜久野分館 4. 福知山市立図書館大江分館		1. 福知山公立大学	1. 福知山グリーンシティ(イオン福知山店) 2. SUPER CENTER PLANT-3福知山店 フレック 福知山(フレッシュバザールフレック 福知山店) 3. ジャパン福知山東店 4. さとうバザールタウン福知山 5. ニトリ福知山店 6. ヤマダ電機テックランド 福知山店 7. MEGAドン・キホーテ福知山店
舞鶴市	1. 独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 2. 舞鶴赤十字病院 3. 国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院	1. 舞鶴市立東図書館 2. 舞鶴市立東図書館中分館 3. 舞鶴市立東図書館南分館 4. 舞鶴市立西図書館 5. 舞鶴市立西図書館加佐分館	1. 舞鶴市総合文化会館		1. らぼーる(エル東舞鶴店) 2. さとうバザールタウン舞鶴 3. ジュンテント・西舞鶴モール 4. 舞鶴ショッピングセンター 5. ケーズデンキ東舞鶴店 6. ホームセンターミツネ 7. アルペン舞鶴店
宮津市	1. 宮津武田病院	1. 宮津市立図書館			1. 宮津シーサイド・マートミツル(さとう宮津店)
綾部市	1. 綾部市立病院		1. 京都府中丹文化会館		1. 綾部ショッピング・プラザアスパラ館(バザールタウン綾部) 2. ライフスタイル綾部モリイ 3. バザールタウン綾部STOCK館
与謝野町	1. 京都府立医科大学附属北部医療センター	1. 与謝野町立図書館 2. 与謝野町立図書館野田川分室 3. 与謝野町立図書館加悦分室			1. 加悦谷ショッピングセンター ウイル 2. コリハート・アンド・グリーン与謝野店
伊根町		1. 伊根町コミュニティセンターほっと館 図書情報室 2. 伊根町立本庄地区コミュニティセンター 図書室			
豊岡市	1. 公立豊岡病院組合立 2. 豊岡病院出石医療センター 3. 公立豊岡病院組合立 4. 豊岡病院日高医療センター	1. 豊岡市立図書館 2. 城崎分館 3. 竹野分館 4. 日高分館 5. 出石分館 6. 但東分館	1. 豊岡市民会館 2. 豊岡市立豊岡市民プラザ	1. 豊岡短期大学 2. 芸術文化観光専門職大学	1. コーポ・デイズ 豊岡 2. ファイティ(さとうファイティ店) 3. ホームラザナフコ・ナフコさとうバザールタウン 豊岡坊・ストック館 4. ワンスタイル豊岡店 5. 日高ショッピング・タウン(マックス・リュ日高店) 6. ジャパン豊岡店、ケオ豊岡店、にしがき豊岡店

【広域的な利用が見込まれる施設の分布状況】

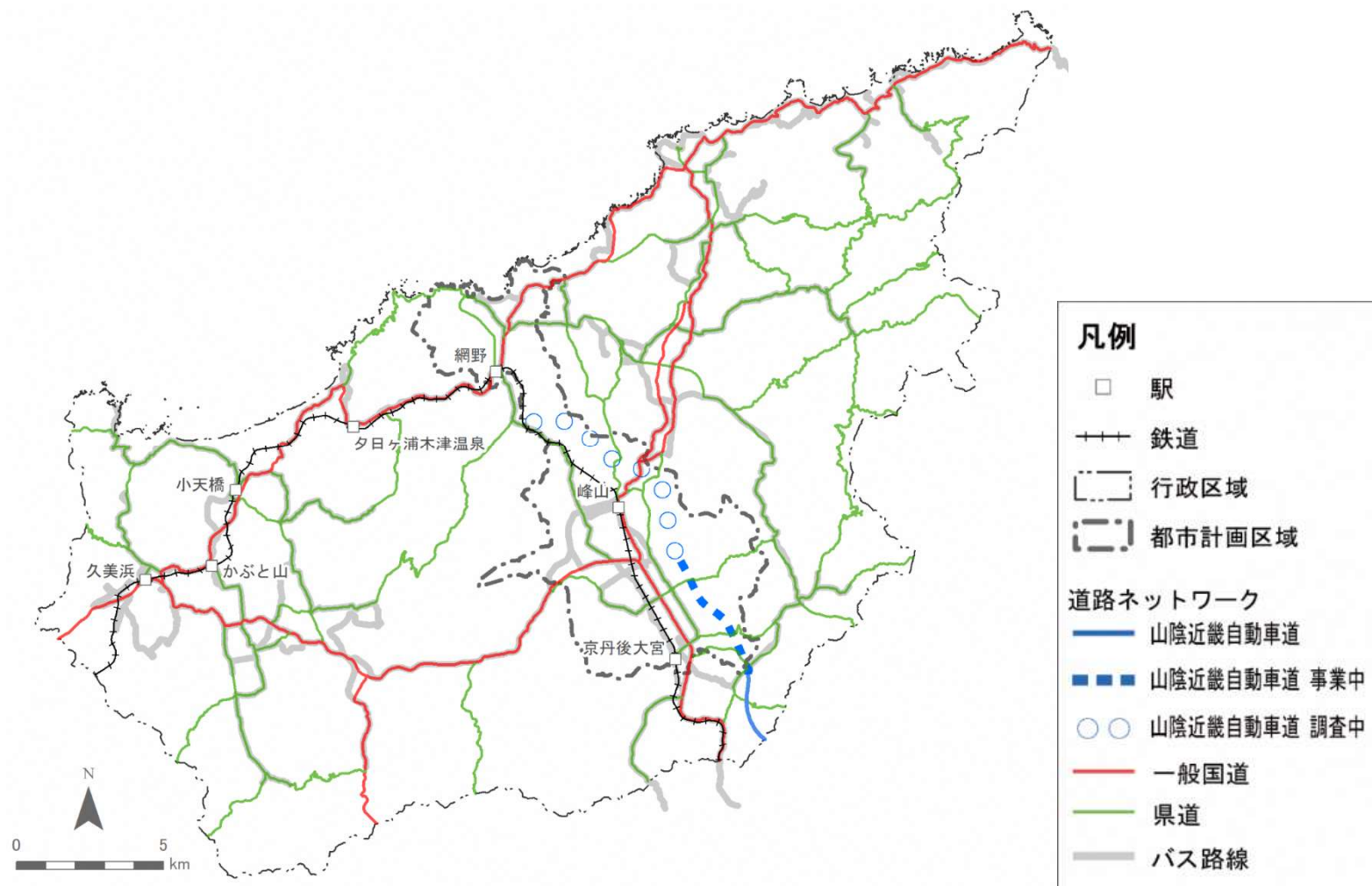
- 広域的な利用が見込まれる施設は鉄道駅周辺に立地しています。



2-5 交通の状況

(1) 道路ネットワークの状況

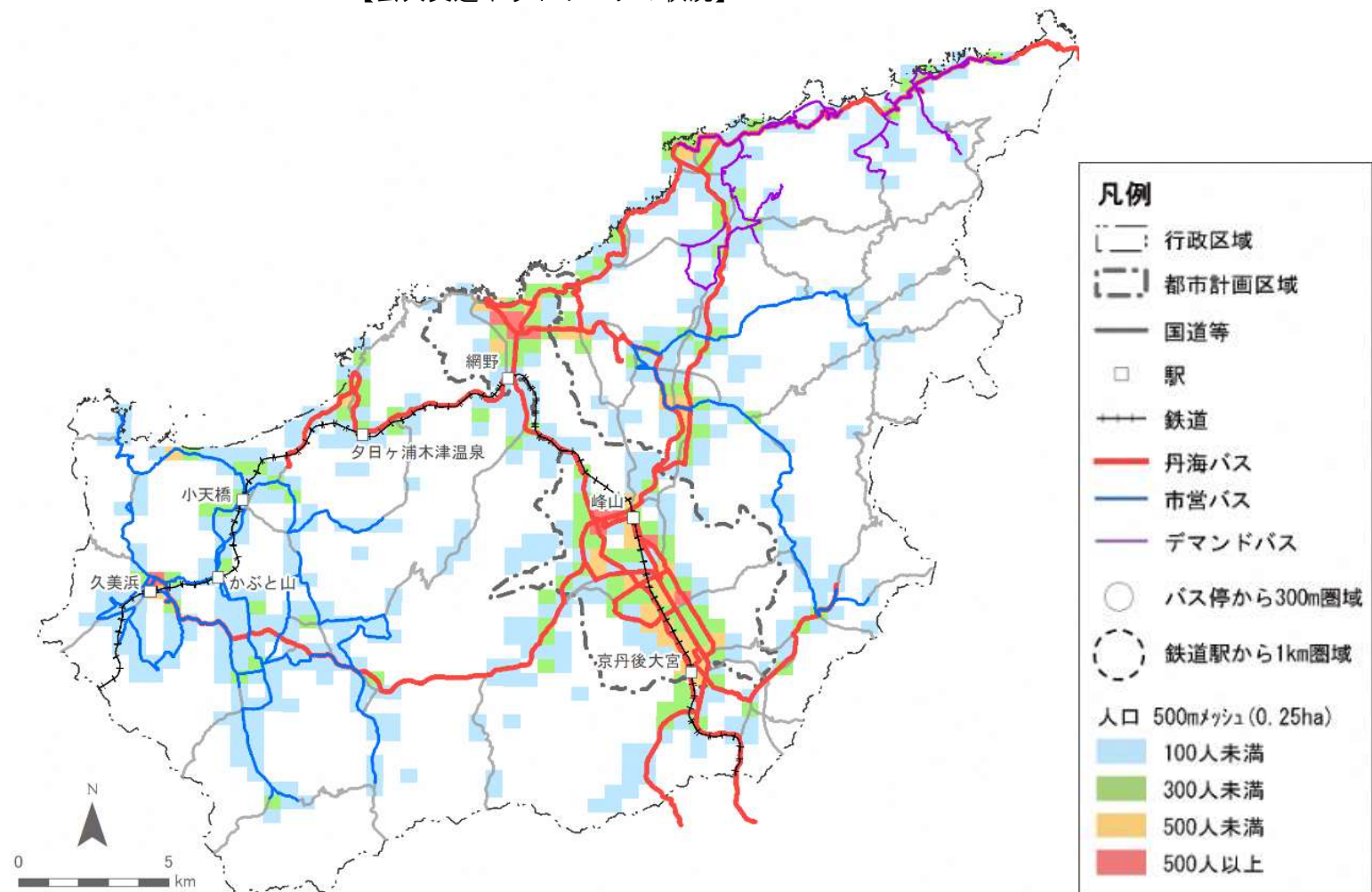
- 本市の道路ネットワークは、市域南部に京丹後大宮 IC が設置され、今後、市域を縦貫する形で延伸が計画されている山陰近畿自動車道、また、国道 178 号、312 号、482 号により広域交通ネットワークが形成されています。



(2) 公共交通ネットワークの状況

- 本市の公共交通は、鉄道は京都丹後鉄道宮豊線、バスは市営バスや丹海バス、デマンドバスにより構成されています。

【公共交通ネットワークの状況】



- ・鉄道の利用者は、峰山駅を除き減少傾向で推移しており、2020(R2)年には新型コロナウイルスの影響もあり、2006(H18)年に比べて約47%減少しています。
- ・市営バスの利用者は横ばいから減少傾向となっています。
- ・丹海バスの利用者は増加傾向にあります。
- ・バスの利用者数は、2020(R2)年には鉄道同様に利用者が大きく減少しており、2006(H18)年と同水準となっています。

【鉄道およびバスの利用者数の推移】

		2006年 (H18)	2007年 (H19)	2008年 (H20)	2009年 (H21)	2010年 (H22)	2011年 (H23)	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2006→2020年 増減率
鉄 道	京丹後大宮駅	42,053	55,400	47,960	53,211	54,350	46,777	55,619	51,859	45,230	52,733	51,712	53,456	51,257	45,337	39,652	94.3%
	峰山駅	134,815	119,971	92,017	89,453	105,110	112,807	114,166	109,489	104,700	115,627	103,700	104,974	97,064	102,689	79,331	58.8%
	網野駅	130,343	106,064	94,660	93,325	105,138	94,005	97,633	98,791	88,587	95,040	79,139	77,069	73,425	68,678	52,432	40.2%
	夕日ヶ浦木津温泉駅	44,845	38,796	45,312	44,832	55,656	54,640	51,095	42,656	46,338	52,641	43,367	45,302	38,287	39,261	27,001	60.2%
	小天橋駅	31,827	40,309	25,195	26,089	16,981	22,598	20,244	24,207	22,510	27,077	24,369	23,110	24,410	24,379	20,127	63.2%
	かぶと山駅	54,425	49,551	56,694	51,023	47,957	35,818	37,532	38,954	33,815	31,619	26,379	25,178	26,104	22,306	17,830	32.8%
	久美浜駅	45,492	46,798	42,250	41,933	39,324	39,903	43,506	41,694	36,948	40,001	32,068	34,277	30,145	28,245	19,587	43.1%
	合計	483,800	456,889	404,088	399,866	424,516	406,548	419,795	407,650	378,128	414,738	360,734	363,366	340,692	330,895	255,960	52.9%
バ ス	市営バス	54,731	52,639	50,946	51,580	50,191	50,606	50,036	45,244	45,440	53,218	49,220	50,826	52,212	49,774	47,689	87.1%
	全但バス	17,442	15,853	13,528	5,636	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	丹海バス	333,170	390,295	303,207	328,486	365,288	367,403	393,109	383,432	368,746	391,962	398,099	435,769	462,676	447,551	355,940	106.8%
	合計	405,343	458,787	367,681	385,702	415,479	418,009	443,145	428,676	414,186	445,180	447,319	486,595	514,888	497,325	403,629	99.6%

(3) 公共交通サービス圏域

- ・国土交通省「立地適正化計画作成の手引き」に示される基準による公共交通利便地域は、市域全体で20%にとどまり大半が公共交通不便地域となっているほか、公共交通空白地域も25%存在しています。
- ・小学校区別では、いさなご小学校区では校区の約半分が公共交通空白地域となっています。

【公共交通の利便地域の分類】

		バス		
		バス停から300m圏域 かつ運行便数15回/日 (往復)以上	バス停から300m圏域 かつ運行便数15回/日 (往復)未満	バス停から 300m圏域以外
鉄道	鉄道駅から 1 km圏域	公共交通利便地域		
	鉄道駅から 1 km圏域外			
			公共交通 不便地域	公共交通 空白地域

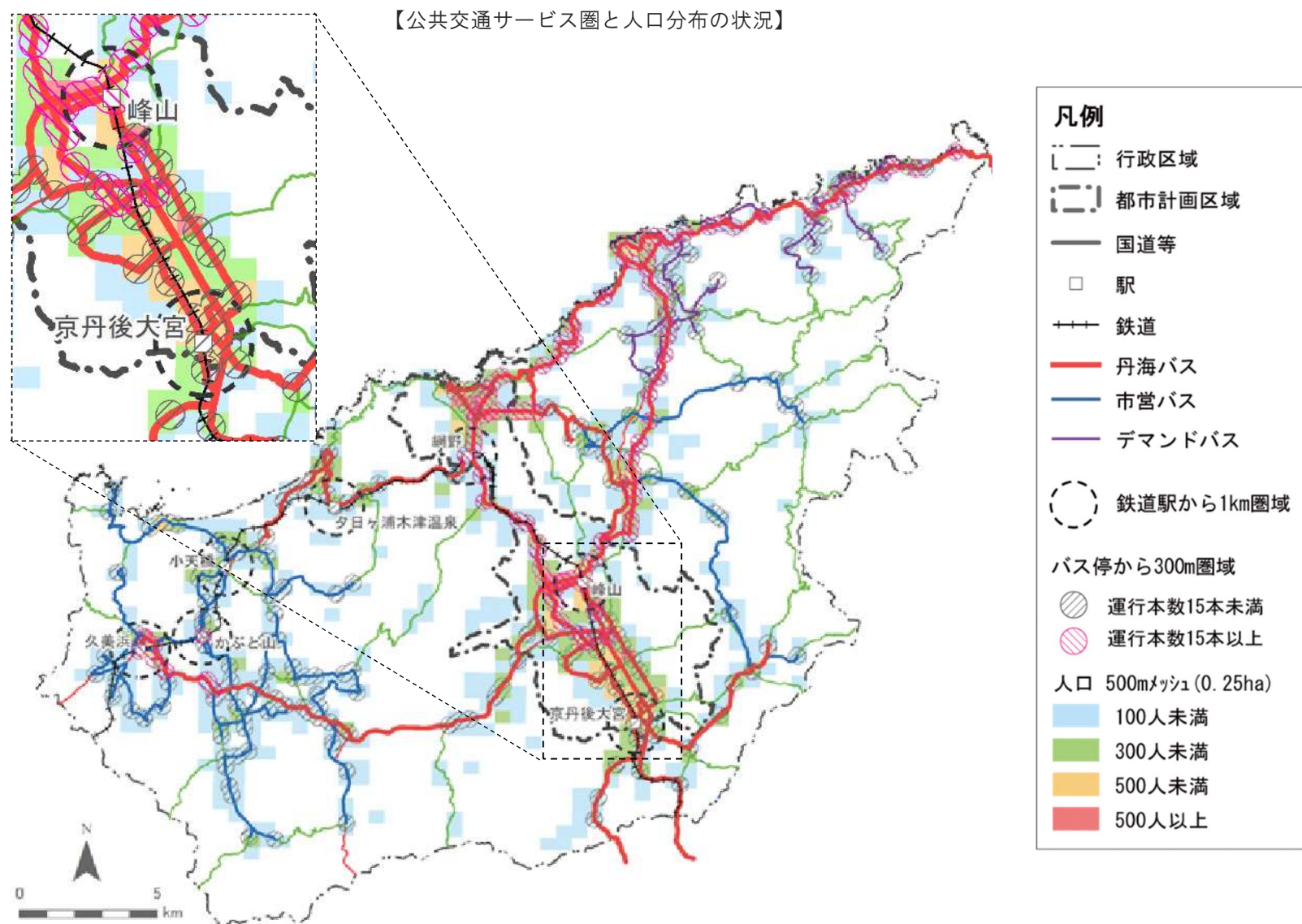
※国土交通省「立地適正化計画作成の手引き」に示される基準

【公共交通の利便地域別の人口】

小学校区	人口 (2015(H27)年)	公共交通 利便地域	公共交通 不便地域	公共交通 空白地域	公共交通 空白地域 の割合
峰山小学校区	2,193	809	1,301	83	3.8%
いさなご小学校区	4,005	20	1,898	2,087	52.1%
しんざん小学校区	4,669	2,233	1,522	914	19.6%
長岡小学校区	1,461	0	1,192	269	18.4%
大宮第一小学校区	7,300	2,494	2,902	1,904	26.1%
大宮南小学校区	2,762	540	1,136	1,086	39.3%
網野北小学校区	3,958	0	3,420	538	13.6%
網野南小学校区	4,247	990	2,014	1,243	29.3%
島津小学校区	2,198	0	1,570	628	28.6%
橘小学校区	2,419	845	1,105	469	19.4%
丹後小学校区	3,751	0	3,120	631	16.8%
宇川小学校区	1,318	0	1,119	199	15.1%
吉野小学校区	913	0	625	288	31.5%
弥栄小学校区	4,199	0	2,863	1,336	31.8%
久美浜小学校区	2,653	1,744	571	338	12.7%
高龍小学校区	3,850	77	2,635	1,138	29.6%
かぶと山小学校区	3,158	1,176	1,522	460	14.6%
京丹後市（人）	55,054	10,929	30,515	13,610	
	100%	19.9%	55.4%	24.7%	

出典：H27 国勢調査 500mメッシュ人口を基に算出

【京丹後大宮駅および峰山駅周辺の公共交通サービス圏の状況】



2-6 都市防災の状況

(1) 災害ハザードの状況

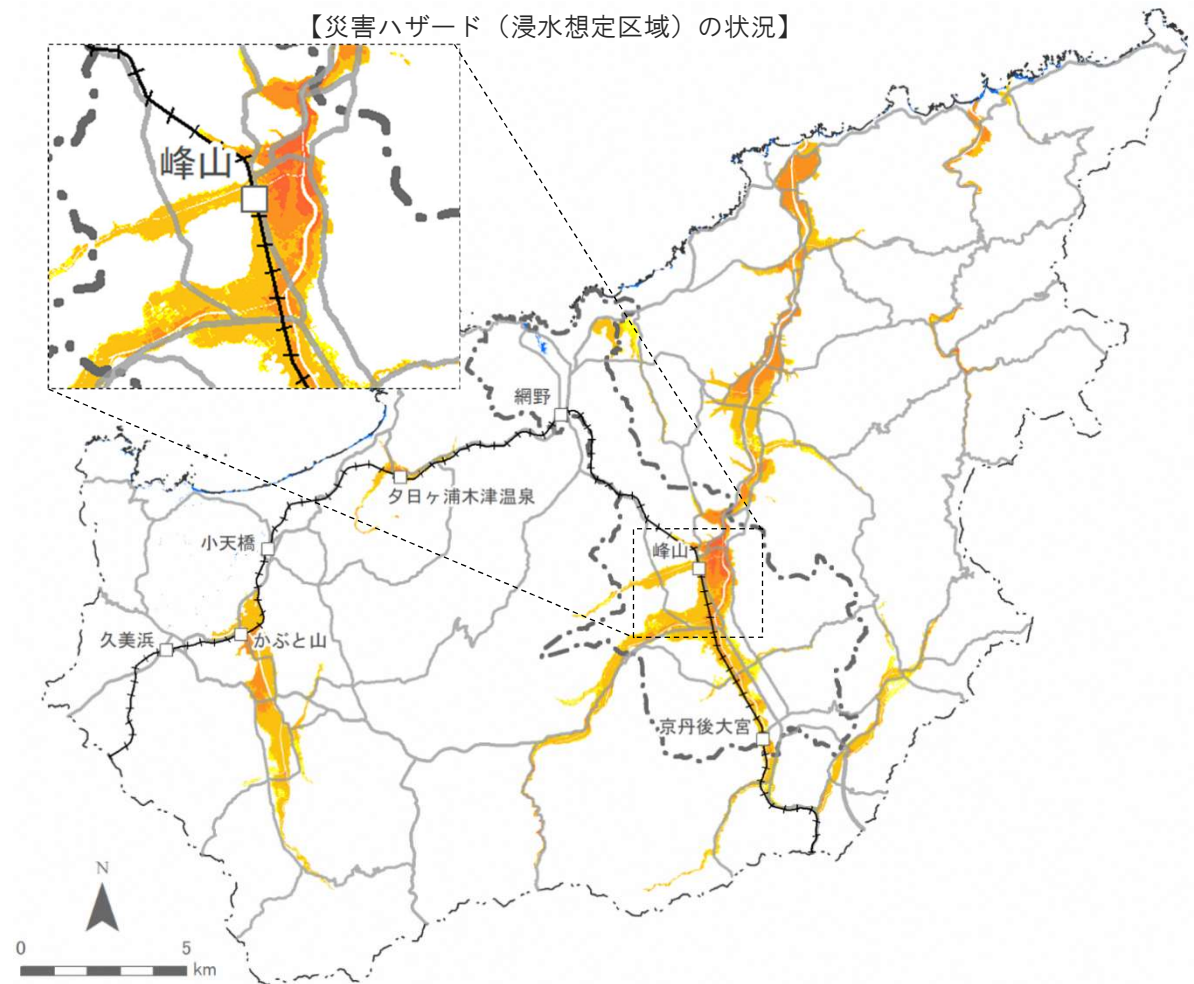
- ・災害ハザードの状況では、竹野川流域などが洪水浸水想定区域となっているほか、沿岸部では津波浸水想定区域に指定されています。
- ・洪水浸水想定区域には、峰山駅周辺などの人口が集積しているエリアが含まれており、都市計画区域内において約 40%、都市計画区域外では約 30%、市全体では約 34%の人口が洪水浸水想定区域に居住しています。

【浸水想定区域に含まれる人口の状況】

	総人口	洪水浸水想定区域に含まれる人口	津波浸水想定区域に含まれる人口
都市計画区域内	25,528 100%	10,086 39.5%	815 3.2%
都市計画区域外	29,526 100%	8,634 29.2%	1,893 6.4%
京丹後市	55,054 100%	18,720 34.0%	2,708 4.9%

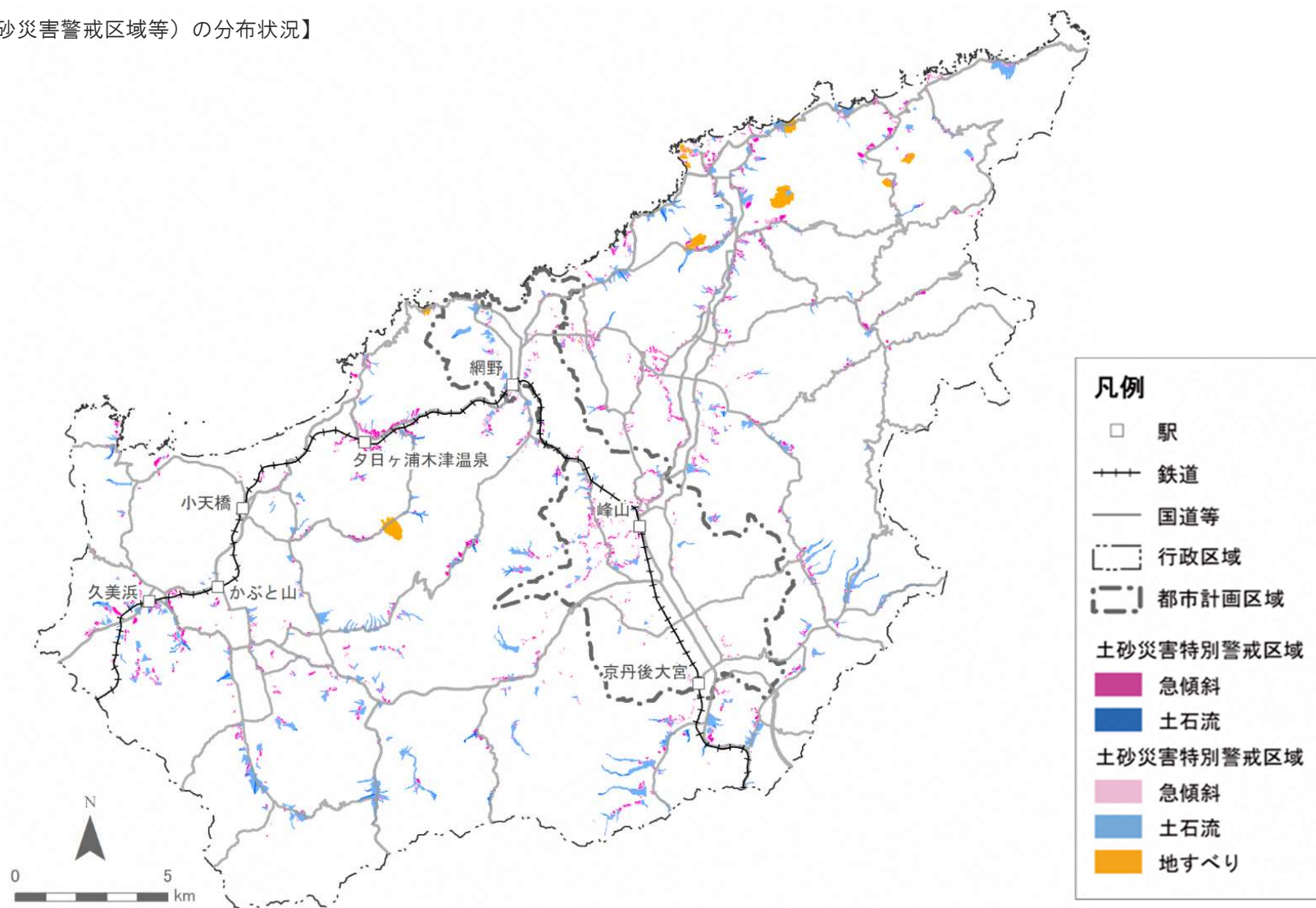
出典：H27 国勢調査 500mメッシュ人口を基に算出

【災害ハザード（浸水想定区域）の状況】



- ・土砂災害特別警戒区域などの土砂災害の恐れのある区域は市域全体に分布しています。

【災害ハザード（土砂災害警戒区域等）の分布状況】



資3 用語の解説

ア行

・ICT

Information and Communication Technology の略。情報通信技術。

・インクルーシブ

性別、年齢、国籍、障がいの有無などに関わらず、多様性を活かすもの。

・ウォーカブル

居心地が良くて歩きたくなること。ウォーカブルなまちづくりを実現することで、人中心の豊かな生活空間を実現できるだけでなく、地域消費や投資の拡大、観光客の増加や健康寿命の延伸、孤独・孤立の防止のほか、様々な地域課題の解決や新たな価値の創造に繋がる。

・SDG s

2015 年 9 月の国連サミットで 150 を超える加盟国首脳に参加のもと、全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」のこと。

先進国・途上国すべての国を対象に、経済・社会・環境の 3 つの側面のバランスがとれた社会を目指す世界共通の目標として、17 のゴールとその課題ごとに設定された 169 のターゲット（達成基準）から構成される。

カ行

・コンベンション

集会。社会団体などの代表者会議。博覧会や見本市などの規模の大きな催し。

サ行

・シビックプライド

都市に対する市民の誇りを指す言葉。シビックプライドは抽象的な情動ではなく、その都市やコミュニティのもつ何らかのもの・こと・場所などを拠り所にすることが多い。そのようなシビックプライドの源泉（source of civic pride）となる都市の要素を見出し、あるいは創り、市民が関与して磨き上げていくことは、シビックプライドの醸成につながっていくと考えられる。

- ・スマートコミュニティ

エネルギーや電気を賢く創り、蓄え、使うことを前提に、地域単位で統合的に管理する社会。

- ・Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。狩猟社会（Society1.0）、農耕社会（Society2.0）、工業社会（Society3.0）、情報社会（Society4.0）に続く、新たな社会を指すもので、第5期科学技術基本計画においてわが国がめざすべき未来社会の姿として初めて提唱された。

タ行

- ・脱炭素社会

地球温暖化の要因となる二酸化炭素（CO2）をはじめとした温室効果ガスの「排出量実質ゼロ」を目指す社会のこと。

マ行

- ・モビリティ

「移動」という意味ですが、人々の自由な移動と、これを支える多様な移動の仕組みを含む幅広い使われ方をしている概念のこと。

ラ行

- ・ランドマーク

その土地の目印や象徴になるような建造物。

- ・ローカルツーリズム

その土地で継承されてきた文化、食、ものづくりに触れ追体験することで、魅力的な文化や産業を未来に継承していく旅。